

ベースバンドプロセッサ ユニット

取扱説明書

BPU4800

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

概要	3
システム構成	4
各部の名称と働き	6
前面	6
背面	7
接続と設定	10
4K システム接続	10
エクステンションモード接続	11
動作モードとスロット出力の関係	12
ステータス表示	14
ステータス画面を表示する	14
ステータス表示画面	14
BPU メニューの設定	14
メニューで各種設定を変更する	14
メニューツリー	16
メニューリスト	17
Web メニューの設定	22
Web メニューの表示	22
ネットワークの設定	22
システムおよびボードの設定	22
Web メニューの構成	23
Home 画面	24
Status 画面	27
System 画面	27
Port 画面	33
File 画面	36
Storage 画面	37
FTP によるファイル操作	39
付録	44
使用上のご注意	44
トラブルへの対処	44
記録を正常に終了できなかったメモリーの サルベージ	44
エラーメッセージ	45
警告メッセージ	46
エラーログの表示	48
仕様	49

概要

ベースバンドプロセッサユニットBPU4800は、カラーカメラHDC4800と光ファイバーケーブルで接続して、カメラからの信号処理や映像出力を行います。本体に高速、大容量のメモリーストレージを搭載し、オプションのメモリーを搭載すると、4K（3840×2160）8倍速の映像で最大4時間の記録・再生ができます。

プロダクションビデオサーバー PWS-4500とネットワーク接続して、ファイル共有するShare Play機能に対応していますので、PWS-4500からBPU4800の素材の再生が可能です。高品位な映像制作に必要なハイダイナミックレンジ、広色域に対応します。IP伝送の対応によりネットワークインフラへの高い親和性を持ちます。

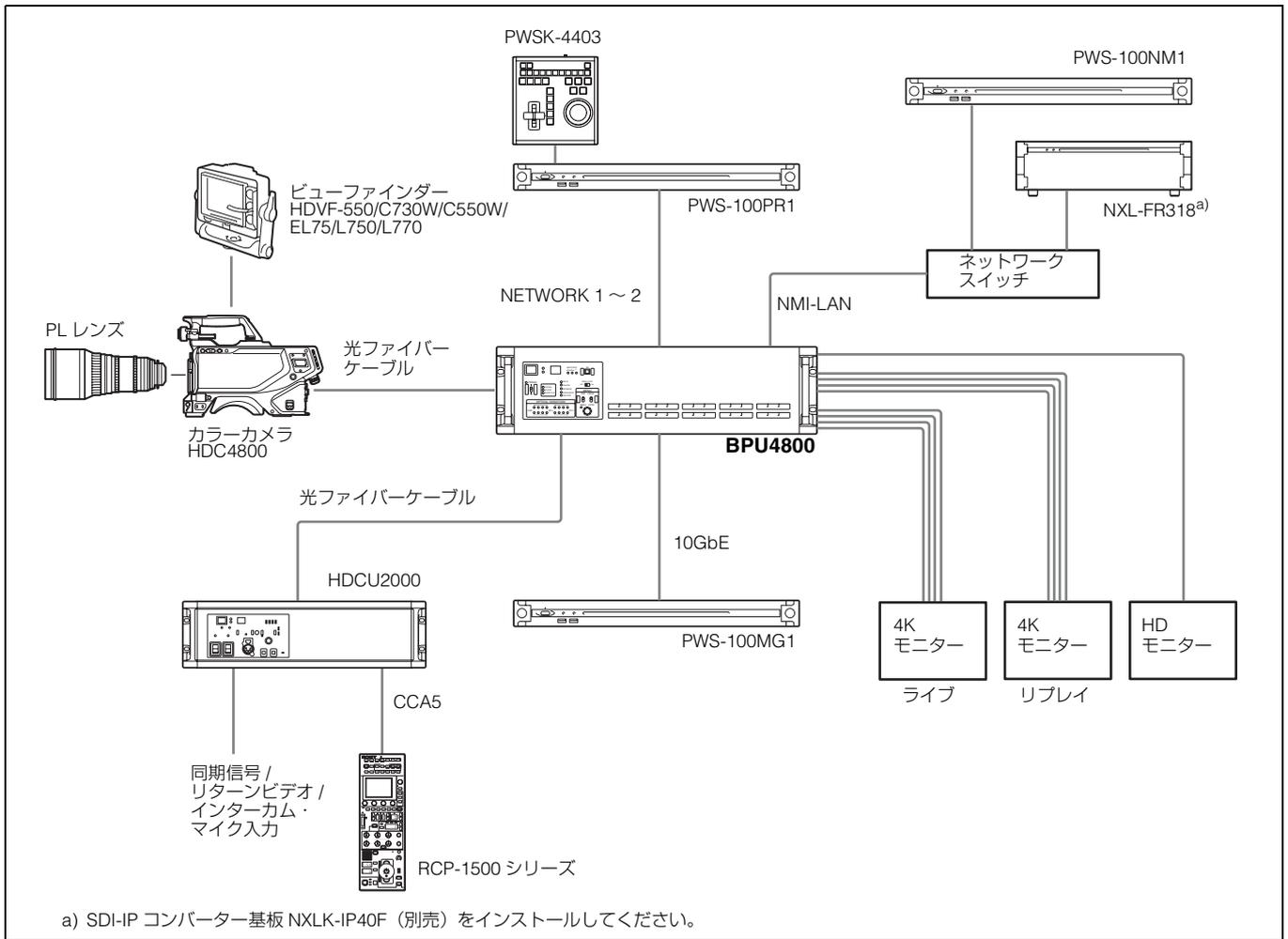
カメラコントロールユニットHDCU2000シリーズと接続することにより、カメラ側への電源供給や各種信号（インターカム、タリー、プロンプター、音声など）の伝送を使用した従来のシステムカメラ運用ができます。

システム構成

ご注意

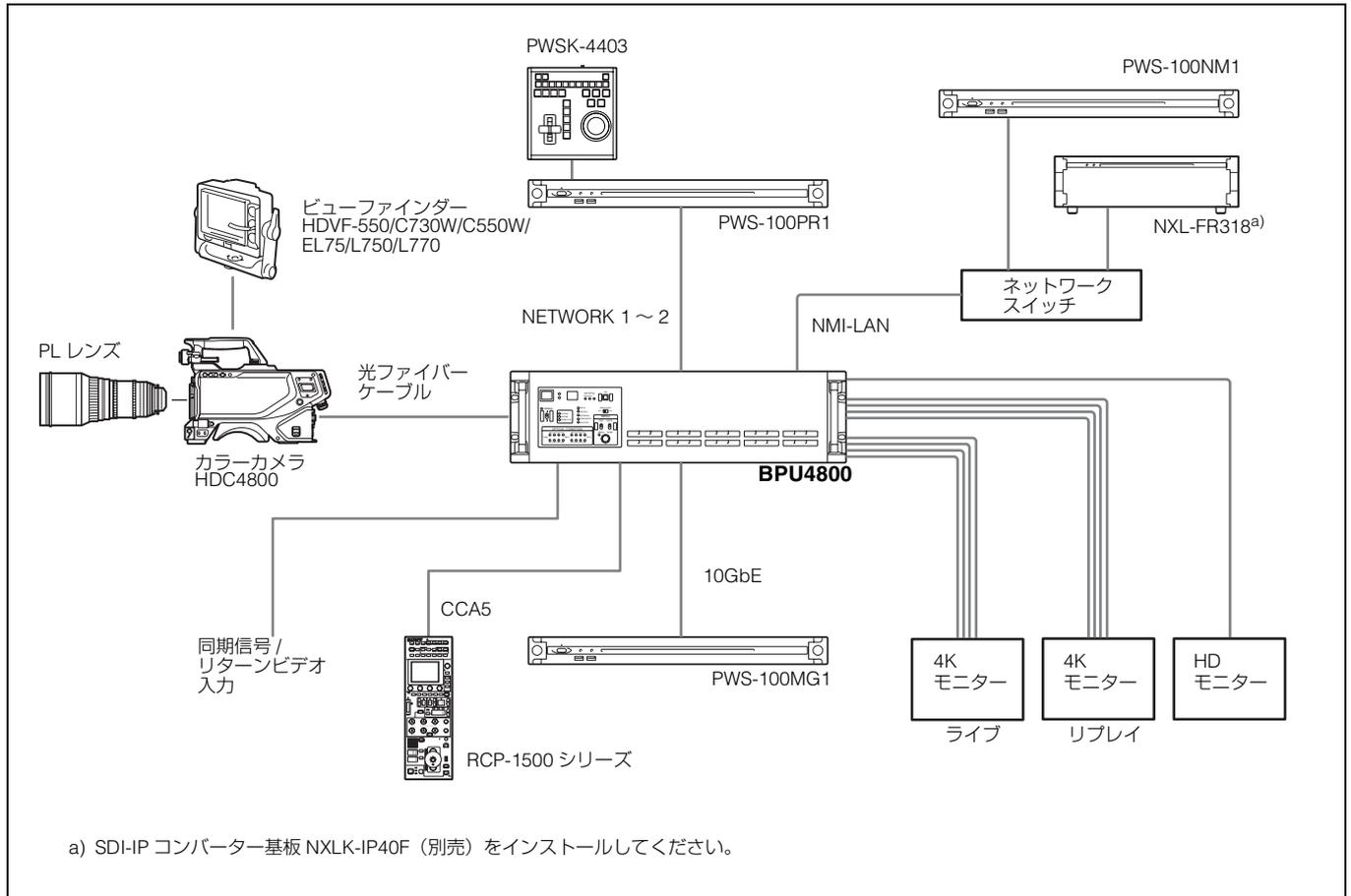
図に記載されている周辺機器や関連機器は、「生産完了」となっている場合があります。
機器の選定にあたっては、ソニーの営業担当者にお問い合わせください。

HDC4800 接続例



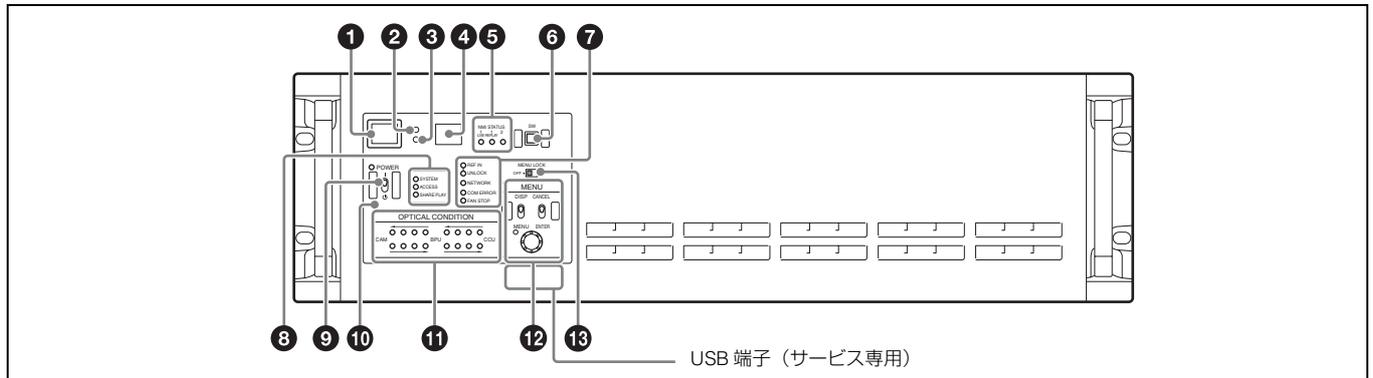
エクステンションモード接続例

HDCU2000/2500を使用せず、本機をカメラの拡張ユニットとして運用する場合の接続例です。



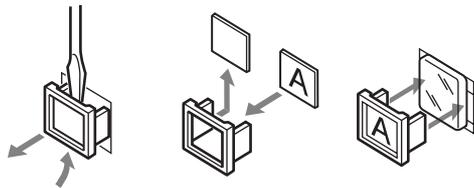
各部の名称と働き

前面



① レッドタリールンプ

レッドタリールンプを受信したときに点灯します。また、ビデオカメラ、マスターセットアップユニットMSU-1000シリーズ、リモートコントロールパネルRCP-1000シリーズなどでCALLボタンが押されると、ランプが点灯していたときは消灯し、消灯していたときは点灯します。
付属のナンバープレートを取り付けることができます（下図参照）。



② イエロータリールンプ

イエロータリールンプを受信したときに点灯します。

③ グリーンタリールンプ

グリーンタリールンプを受信したときに点灯します。

④ CCU ナンバー表示

システム接続しているCCUのメニューで設定したカメラナンバーが表示されます。
本機をエクステンションユニットとして使用する場合は消灯します。

⑤ NMI LAN STATUS インジケータ

NMI-LANのステータスを表示します。

1 : SLOT1 LIVE NMI LAN 1 - 2 に対応

2 : SLOT1 REPLAY NMI LAN 1 - 2 に対応

3 : SLOT2 NMI LAN 1 - 2 に対応

緑 : 定常状態

緑点滅 : ネットワーク同期処理中

消灯 : SFP+ モジュールが装着されていない。

IP Live System Manager と断線されている。

IP Live System Manager との接続処理中

赤点滅 : ネットワーク同期信号にロックされていない。光受信ができていない。

⑥ アサインボタン

BPUメニューでの設定により、このボタンに機能を割り付けることができます。

⑦ 状態表示インジケータ

REF IN (緑) : REFERENCE が入力されています。

UNLOCK (赤) : 入力された REFERENCE にロックしていません。

(CCU 接続時、REF IN と UNLOCK は CCU に対するロック状態を表示します。)

NETWORK : カメラコントロールシステム接続時の LAN の状態を表示します。

点灯 : <CNS SETTING> の CNS MODE の設定が BRIDGE のとき、外部コントロール機器 (マスターセットアップユニット MSU-1000 シリーズ、リモートコントロールパネル RCP-1000 シリーズなど) が接続されている。

点滅 : <CNS SETTING> の CNS MODE の設定が BRIDGE のとき、外部コントロール機器 (マスターセットアップユニット MSU-1000 シリーズ、リモートコントロールパネル RCP-1000 シリーズなど) と正しく接続できない。

消灯 : <CNS SETTING> の CNS MODE の設定が BRIDGE のとき、LAN ケーブルが接続されていない、またはネットワークシステムの接続設定がされていない。CNS MODE の設定が LEGACY のときは常に消灯する。

◆ 詳しくは、「<CNS SETTINGS>」(19 ページ) をご覧ください。

COM ERROR (赤) : ビデオカメラ、CCU または外部コントロール機器 (リモートコントロールパネル RCP-1000 シリーズなど) と通信できていません。

FAN STOP (赤) : 機器内部のファンが止まっています。

⑧ SYSTEM/ACCESS/SHARE PLAY インジケータ

SYSTEMインジケータ

サーバーの状態を示します。

緑色点灯 : 通常使用状態

- 緑色点滅 (1 秒周期)：システム起動中
- オレンジ色点滅 (1 秒周期)：警告メッセージ発生
- 赤色高速点滅 (1/4 秒周期)：重大なエラー発生
- 紫色点滅 (1 秒周期)：ネットワーク設定のリセット中

ACCESSインジケータ

- ストレージへのアクセス状態を示します。
- 消灯：アクセスなし
- 青色点灯：アクセス中
- 青色点滅：フォーマット中またはファイル削除中

SHARE PLAYインジケータ

- Share Playでの素材共有が可能かどうかを示します。
- オレンジ点滅：ゲンロック指示前
- 緑点滅：ゲンロック動作中
- 緑点灯：Share Play 使用可能な状態

9 POWER (電源) スイッチとインジケータ

本機、ビデオカメラ、および本機のREMOTE端子に接続したリモートコントロールパネルRCP-1000シリーズなど、本システム全体の電源をオン/オフします。ONにすると電源が入り、OFFにすると電源が切れます。電源が入るとインジケータが点灯します。

10 ネットワークリセットスイッチ

穴に細いピンなどを挿入して中にあるスイッチを押しながら本機を起動すると、SYSTEMインジケータが紫色に点滅し、本機のIPアドレスとネットワーク設定がデフォルト状態にリセットされます。

11 光信号受信状態インジケータ

ビデオカメラおよびCCU (カメラコントロールユニット) と本機の光信号の受信状態を表示します。

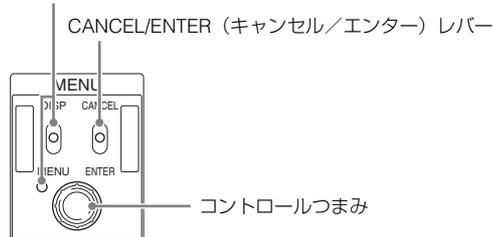
- CAM ← BPU：本機からビデオカメラ側の受信状態
- CAM → BPU：ビデオカメラから本機側の受信状態
- BPU ← CCU：CCU から本機側の受信状態

BPU → CCU：本機から CCU 側の受信状態

ランプの点灯によって、以下のような受信状態を示します。
 右の緑ランプ2 個点灯：受信状態が非常に良好
 右から2 番目の緑ランプ1 個のみ点灯：受信状態がほぼ良好
 左から2 番目の黄ランプのみ点灯：受信レベルが低下
 左端の赤ランプのみ点灯：受信レベルが著しく低下

12 MENU (メニュー) 操作部

DISP/MENU (ディスプレイ/メニュー) レバーとインジケータ



DISP/MENU (ディスプレイ/メニュー) レバーとインジケータ：ステータスおよび設定メニューの表示に使用します。設定メニューの表示時は、インジケータが点灯します。

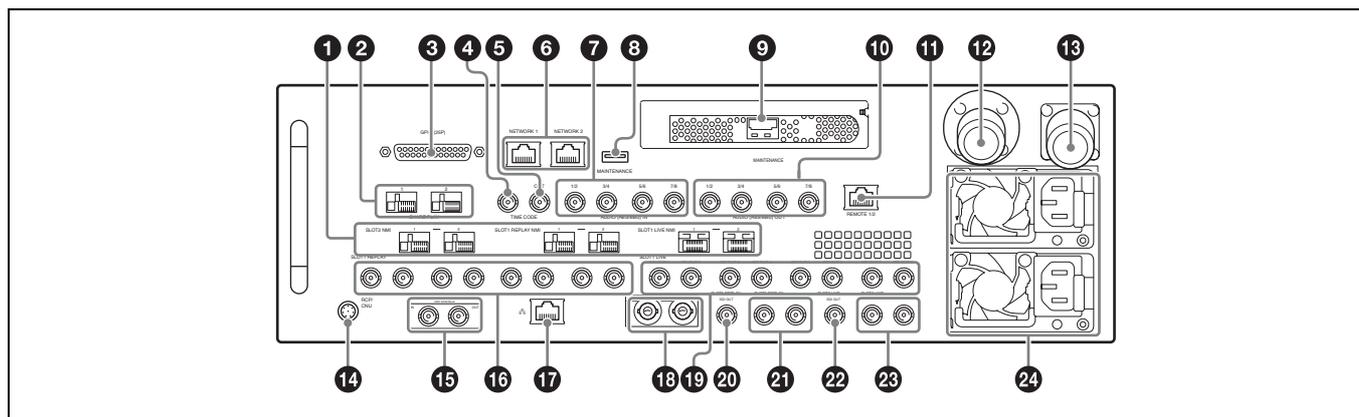
CANCEL/ENTER (キャンセル/エンター) レバー：メニューが表示されているときに使用します。

コントロールつまみ (ロータリーエンコーダー)：ステータス画面が表示されているときは、ページの切り換えに使用します。設定メニューが表示されているときは、ページ内でのカーソルの移動、または項目を選択している場合の設定の変更で使用します。また、つまみを押し、CANCEL/ENTER レバーをENTER側に倒したときと同様に機能します。

13 メニューロックスイッチ

フロントパネルにあるメニュー操作部の動作をロックします。

背面



1 NMI-LAN 端子 (SFP+)

IP映像信号、音声の出力端子です。出力信号のフォーマットは、各端子のスロットに設定したフォーマットと同じです。

2 SHARE PLAY 1 ~ 2 端子

Share Playに対応した機器と素材共有を行うときに、ネットワークスイッチを介して接続します。

3 GPIO (25P) 端子

パラレルI/O端子です。詳細はメンテナンスマニュアルおよびインターフェースマニュアルを参照してください。

4 TIME CODE IN 端子

外部機器で発生させたタイムコードを入力します。

5 TIME CODE OUT 端子

タイムコードジェネレーターがTIME CODE IN 端子に入力された外部タイムコード信号と同期している場合は、外部タイムコードをWebメニューのPort画面の [TC Out Select] の設定に従って出力します。

6 NETWORK 1～2 端子

PWS-100PR1から本機を制御する場合、SNMPにより本機を監視するときや、HTTPで本機の設定や確認を行う場合、FTPでファイルを転送する場合などにネットワークケーブルを接続します。

ご注意

- 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。接続については本書の指示に従ってください。
- ネットワークケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、シールドタイプのケーブルを使用してください。

7 AUDIO (AES/EBU) 入力端子

1～8チャンネルのAES/EBU フォーマットの音声信号を入力します。

8 MAINTENANCE 端子

サービス用の端子です。通常は使用しません。

9 NETWORK 3 端子

本機は、10Gイーサネットインターフェースボードを標準搭載しています。

SFP+モジュールを装着してネットワークケーブルを接続してください。

10 AUDIO (AES/EBU) 出力端子

1～8チャンネルのAES/EBU フォーマットの音声信号を出力します。

11 REMOTE 1/2 端子

本機を外部機器から制御する場合に、外部機器を接続します。接続には、9ピンリモートコントロールケーブルと専用のRJ45-DSUB変換ケーブルを利用してください。制御プロトコルは、SONY VTR/Disk プロトコル、VDCP、Odeticsに対応しています。

ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。接続については本書の指示に従ってください。

12 CAMERA (カメラ) 端子 (光ファイバーコネクタ)

光ファイバーケーブルでビデオカメラと接続します。電源、コントロール信号、映像信号、音声信号など、ビデオカメラのすべての信号を光ファイバーケーブル1本で送受信することができます。

13 CCU (カメラコントロールユニット) 端子 (光ファイバーコネクタ)

光ファイバーケーブルでカメラコントロールユニットと接続します。電源、コントロール信号、映像信号、音声信号など、ビデオカメラのすべての信号を光ファイバーケーブル1本で送受信することができます。またエクステンションモード接続の場合

合は、カメラエクステンションアダプター HDCE-200を接続することで、カメラに給電ができます。

ご注意

光ファイバーケーブルの接続端子面にほこりなどが付着すると、伝送エラーが発生しますので、接続しないときは、必ず付属のキャップをはめてください。

14 REMOTE 端子 (丸形 8 ピン)

接続ケーブルCCA-5を使って、マスターセットアップユニットMSU-1000シリーズまたはリモートコントロールパネルRCP-1000シリーズを接続します。この端子を介してコントロール信号を送受信します。RCP-1000シリーズを接続したときは、電源も供給します。

ご注意

CCU接続時は、この端子には何も接続しないでください。

15 REFERENCE IN/OUT (基準同期信号入出力) 端子

• IN 端子 (BNC 型) (左側)

外部同期用のHD3値基準同期信号またはSD基準同期信号 (ブラックバースト信号) を入力します。リファレンス信号の種類は自動で検出され、本機のメニューで確認できます。

ご注意

CCU接続時は、この端子には何も接続しないでください。

• OUT 端子 (BNC 型) (右側)

IN端子に基準同期信号が入力されている場合または本機の電源がオフの場合は、IN端子に入力された信号がそのまま出力 (ループスルー) されます。それ以外の場合は、内部の同期信号発生器からのSDコンポジットシンク信号またはHD3値信号が出力されます。(工場出荷時はHD3値信号) 本機をエクステンションユニットとして使用する場合のみ有効です。

16 3G/HD SDI OUTPUT (SDI 出力) 端子 (SLOT1 REPLAY) (BNC 型)

サーバーからの映像信号を3G-SDI信号によるMulti-Link方式またはHD-SDI信号で出力します。Multi-Link方式における各信号の出力端子への割り当てについては、「動作モードとスロット出力の関係」(12ページ) をご覧ください。

17 LAN (LAN) 端子 (RJ-45 8 ピン)

カメラコントロールシステムのLAN接続時に使用します。LANケーブル (シールドタイプ、カテゴリ 5以上) を使用し、LAN (10BASE-T/100Base-TX) のハブと接続します。

ご注意

- 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。接続については本書の指示に従ってください。
- ネットワークケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、シールドタイプのケーブルを使用してください。

18 SDI1、SDI2 (リターンビデオ入力) 端子 (BNC 型)

2系統の3G/HD-SDIリターンビデオ信号を個別に入力することができます。SDI1/SDI2の選択は、ビデオカメラ側のリターンスイッチで行います。また、CONFIGURATIONメニューの

<RETURN>ページからHDプロンプターを有効にすると、SDI2端子がHDプロンプター入力端子になります。

本機をエクステンションユニットとして使用する場合のみ有効です。

⑲ 3G SDI OUTPUT (SDI 出力) 端子 (SLOT1 LIVE) (BNC 型)

ビデオカメラからの映像信号を、3G-SDI信号によるMulti-Link方式で出力します。

Multi-Link方式における各信号の出力端子への割り当てについては、「動作モードとスロット出力の関係」(12ページ)をご覧ください。

⑳ 3G/HD SDI OUTPUT (SDI 出力) 端子 (SLOT3 REPLAY) (BNC 型)

サーバーからの映像信号をHD-SDI信号として1系統出力します。

また、キャラクターやマーカを重畳した信号を出力できます。

2つの端子からは、同じ信号を出力します。

㉑ 3G/HD SDI OUTPUT (SDI 出力) 端子 (SLOT2 REPLAY) (BNC 型)

サーバーからの映像信号 (3G-SDI信号またはHD-SDI信号) を出力します。

㉒ HD SDI OUTPUT (SDI 出力) 端子 (SLOT3 LIVE) (BNC 型)

ビデオカメラからの映像信号をHD-SDI信号として1系統出力します。

また、キャラクターやマーカを重畳した信号を出力できます。

2つの端子からは、同じ信号を出力します。

㉓ 3G/HD SDI OUTPUT (SDI 出力) 端子 (SLOT2 LIVE) (BNC 型)

ビデオカメラからの映像信号を、3G-SDI信号またはHD-SDI信号を出力します。

㉔ AC 電源ユニット

電源コードを挿入して、電源コンセントに接続します。

本機は、AC電源ユニットが2台装着されており、電源を二重化することができます。信頼性が要求されるシステムで本機を使用するとき、一方の電源ユニットが故障しても運用の継続が可能です。

接続と設定

4K システム接続

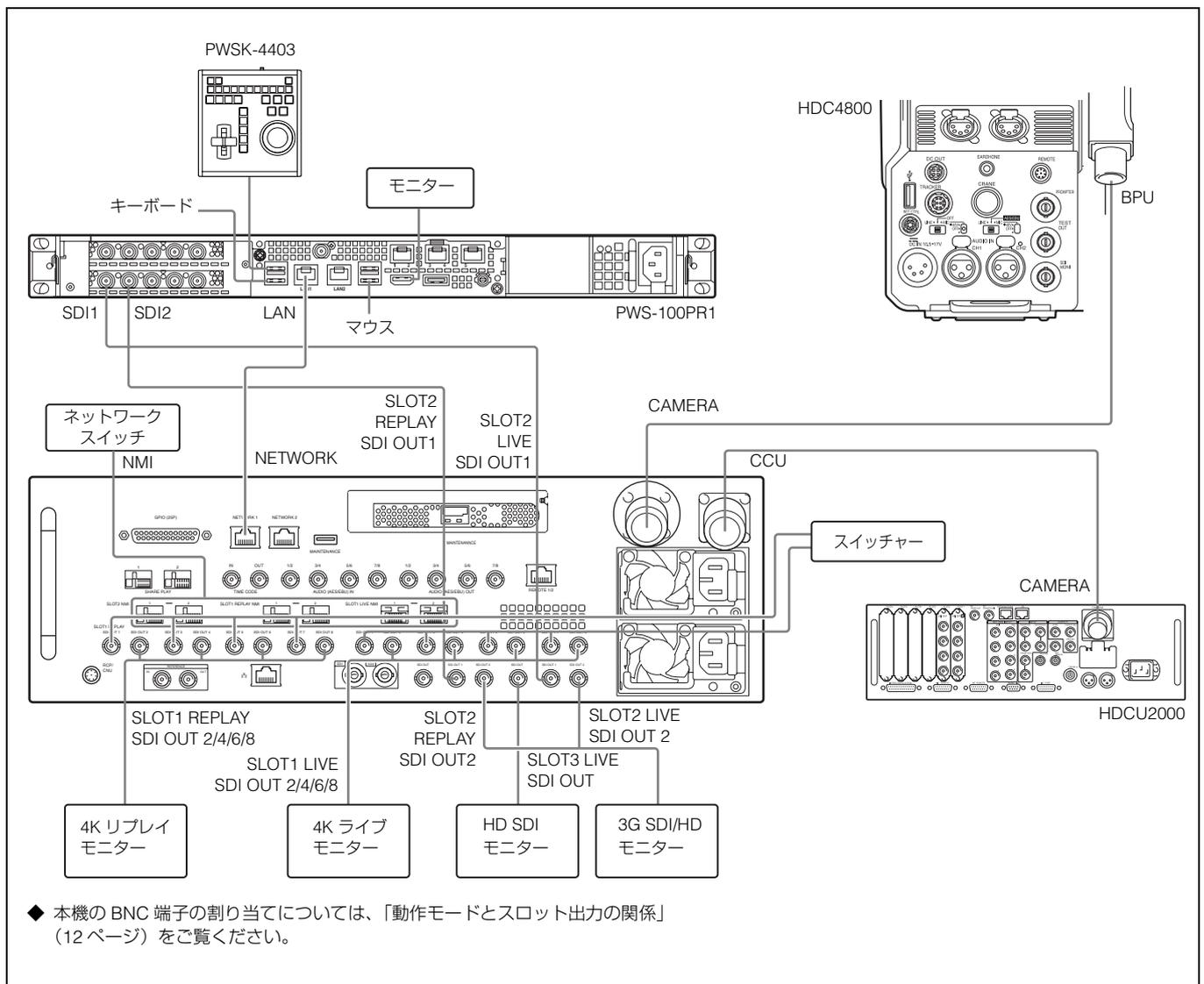
本機とカラーカメラHDC4800、本機とカメラコントロールユニットHDCU2000/2500（以下、CCU）を、それぞれ1本の光ファイバーケーブルで接続し、4Kフォーマットのカメラシステムを構築します。

CCU側が持つ機能（ゲンロック、ビデオカメラ側への電源供給、各種のインターフェース機能など）をそのまま使用できます。

SLOT2、SLOT3とCCUからは、4K信号からダウンコンバートされたHD信号を出力することができます。

本機にプロダクションコントロールステーションPWS-100PR1を接続し、プロダクションコントロールソフトウェアPWA-PRC1とUSBコントロールデバイスPWSK-4403を使用することで、スロー再生やクリップ/プレイリスト管理ができます。

接続例



設定

機器	目的	メニュー/ページ	項目	設定値	
BPU4800	撮像フォーマットの設定	CONFIGURATION /<OUTPUT FORMAT>	SYSTEM	RESOLUTION	3840x2160
			FORMAT	FREQUENCY	CCU での値が表示される。
	ビデオ出力端子の設定	CONFIGURATION/ <OUTPUT FORMAT> (コントロールパネルでも設定可)	SLOT1 ~ SLOT3		各スロットのビデオ出力フォーマット

機器	目的	メニュー/ページ	項目	設定値
HDCU2000/ 2500	撮像フォーマットの設定	SYSTEM OPERATION/<MULTI FORMAT>	FREQUENCY HD	フレーム周波数
			HD-SD DELAY	0-Delay, Frame(1F)
	ビデオ出力端子の設定	SYSTEM OPERATION/<OUTPUT FORMAT> (コントロールパネルでも設定可)	SLOT1 ~ SLOT6	各スロットのビデオ出力 フォーマット
	伝送レートの設定	CCU CONFIGURATION/<PROMPT/ TRUNK>	TRANSMIT	AUTO, HIGH BIT RATE
HDC4800	プロンプター出力端子の 設定	MAINTENANCE/<SDI-OUT>	SDI-MONI OUT	HD-PROMPT
		MAINTENANCE/<PROMPTER2 OUT>	OUTPUT	PROMPTER2

エクステンションモード接続

本機とカラーカメラHDC4800の間を1本の光ファイバーケーブルで接続し、映像信号の延長伝送装置として使用できます。外部ゲンロック機能を有しているため、システムにロックして運用することも可能です。

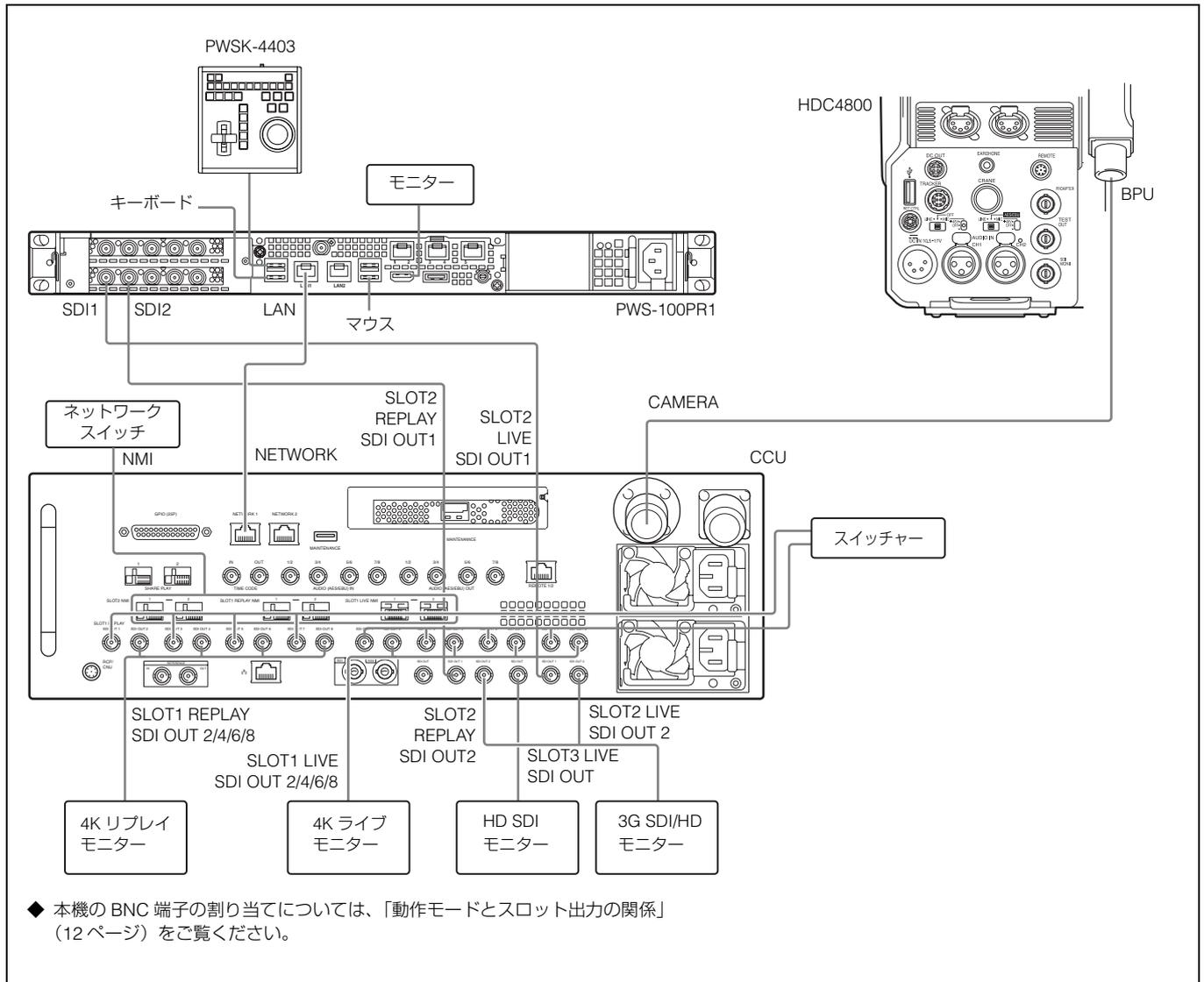
インターカムシステムやマルチカメラオペレーションシステムには対応しません。

また、本機からは給電を行わないので、ビデオカメラ側での外部給電、またはHDCE-200を使用したCCU端子からカメラへの給電が必要になります。

SLOT2、SLOT3出力からは、4K信号からダウンコンバートされたHD信号を出力することができます。

本機にプロダクションコントロールステーションPWS-100PR1を接続し、プロダクションコントロールソフトウェアPWA-PRC1とUSBコントロールデバイスPWSK-4403を使用することで、スロー再生やクリップ/プレイリスト管理ができます。

接続例



設定

機器	目的	メニュー / ページ	項目	設定値	
BPU4800	撮像フォーマットの設定	CONFIGURATION/<OUTPUT FORMAT>	SYSTEM	RESOLUTION	3840x2160
			FORMAT	FREQUENCY	フレーム周波数
	ビデオ出力端子の設定	CONFIGURATION/<OUTPUT FORMAT> (コントロールパネルでも設定可)	SLOT1 ~ SLOT3	各スロットのビデオ出力 フォーマット	
HDC4800	プロンプター出力端子の設定	MAINTENANCE/ <SDI OUT>	SDI-MONI OUT	HD-PROMPT	

動作モードとスロット出力の関係

QFHD (3840×2160)、HD Cutoutモードの各出力スロットの画サイズ、フレームレート、出力方式の関係を下記の表に記しています。

ご注意

NMI-LAN端子からの出力信号のフォーマットはSDI端子と同じですが、NMI-LAN出力の制約があります(表の脚注を参照)。

ライブ出力

QFHD 3840 × 2160							
SDI	SLOT1 LIVE		SLOT2 LIVE		SLOT3 LIVE		
画サイズ	3840 × 2160		1920 × 1080	1280 × 720	1920 × 1080	1280 × 720	
フレームレート	59.94p,50p		59.94p,50p	59.94i,50i	59.94p,50p	59.94i,50i	
出力方式	3G-A/3G-B		3G-A/3G-B	1.5G	1.5G	1.5G	
NMI-LAN	SLOT1 LIVE NMI		SLOT2 NMI		*3		
画サイズ	3840 × 2160		1920 × 1080				
フレームレート	59.94p,50p		—	59.94i,50i			*2
出力方式	3G-A*1		—	1.5G			
HD Cutout							
SDI	SLOT1 LIVE		SLOT2 LIVE		SLOT3 LIVE		
画サイズ	3840 × 2160		1920 × 1080	1280 × 720	1920 × 1080	1280 × 720	
フレームレート	59.94p,50p		59.94p,50p	59.94i,50i	59.94p,50p	59.94i,50i	
出力方式	3G-A/3G-B		3G-A/3G-B	1.5G	1.5G	1.5G	
NMI-LAN	SLOT1 LIVE NMI		SLOT2 NMI		*3		
画サイズ	3840 × 2160		1920 × 1080				
フレームレート	59.94p,50p		—	59.94i,50i			*2
出力方式	3G-A*1		—	1.5G			

リプレイ出力

QFHD 3840 × 2160							
SDI	SLOT1 REPLAY		SLOT2 REPLAY		SLOT3 REPLAY		
画サイズ	3840 × 2160		1920 × 1080	1280 × 720	1920 × 1080	1280 × 720	
フレームレート	59.94p,50p		59.94p,50p	59.94i,50i	59.94p,50p	59.94i,50i	
出力方式	3G-A/3G-B		3G-A/3G-B	1.5G	1.5G	1.5G	
NMI-LAN	SLOT1 REPLAY NMI		SLOT2 NMI		*3		
画サイズ	3840 × 2160		1920 × 1080				
フレームレート	59.94p,50p		—	59.94i,50i			*2
出力方式	3G-A*1		—	1.5G			
HD Cutout							
SDI	SLOT1 REPLAY		SLOT2 REPLAY		SLOT3 REPLAY		
画サイズ	1920 × 1080	1280 × 720	1920 × 1080	1280 × 720	1920 × 1080	1280 × 720	
フレームレート	59.94p,50p	59.94i,50i	59.94p,50p	59.94p,50p	59.94i,50i	59.94p,50p	
出力方式	3G-A/3G-B	1.5G	1.5G	3G-A/3G-B	1.5G	1.5G	
NMI-LAN	SLOT1 REPLAY NMI		SLOT2 NMI		*3		
画サイズ	1920 × 1080		1920 × 1080				
フレームレート	—	59.94i,50i	—	59.94i,50i			*2
出力方式	—	1.5G	—	1.5G			

*1 SLOT1 NMI-LAN 出力は 3G 2SI Level-A に対応します。

*2 SLOT2 NMI-LAN 出力は 1280 × 720 画サイズに対応しません。

*3 SLOT2 NMI-LAN 出力には HD キャラクターモニターが付加されません。

ステータス表示

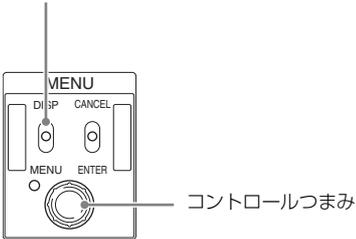
本機では、SLOT3 LIVEモニター映像出力において、出力信号に重畳されたキャラクターにより、本機やシステムの状態を確認できます。

◆ 各種設定の確認や変更について詳しくは、「BPU メニューの設定」(14 ページ) をご覧ください。

ステータス画面を表示する

操作には、前面のMENU操作部のつまみ、およびレバーを使用します。

DISP/MENU (ディスプレイ/メニュー) レバー



ステータス画面を表示させるには

DISP/MENUレバーをDISP側に倒します。
前回表示させたステータス画面のページが表示されます。初めて表示するときは、ビデオカメラの設定状態が表示されます。表示させるページを切り換えるときはコントロールつまみを回します。

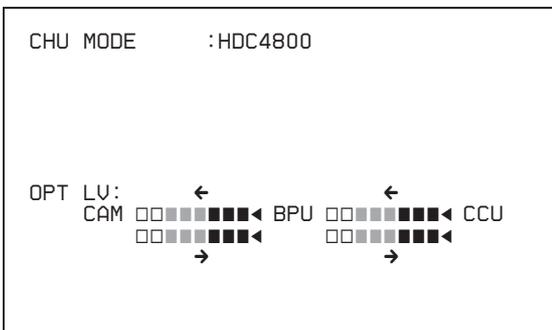
ステータス画面の表示を終了させるには

ステータス画面が表示されている状態で、DISP/MENUレバーをDISP側に倒します。

ステータス表示画面

ステータス表示画面では、オプティカルレベルの状態を確認できます。

オプティカルレベルの状態



- CAM ← BPU** : カメラのBPU端子における受光レベル
- CAM → BPU** : BPUのカメラ端子における受光レベル
- BPU ← CCU** : BPUのCCU端子における受光レベル
- BPU → CCU** : CCUのCAMERA端子における受光レベル

BPU メニューの設定

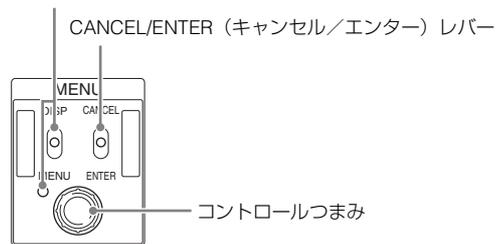
本機では、SLOT3 LIVEモニター映像出力において、メニューによって本機やシステムの状態を表示させ、各種設定の確認や変更を行うことができます。

メニューで各種設定を変更する

操作には、前面のMENU操作部のつまみ、およびレバーを使用します。

CANCEL/ENTERレバーをENTER側に倒したときと、コントロールつまみを押したときは、同様に機能します。

DISP/MENU (ディスプレイ/メニュー) レバーとインジケーター

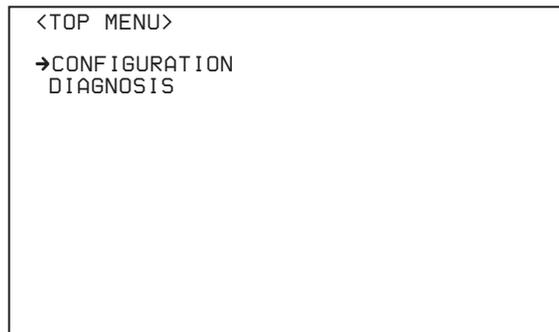


メニューの設定ページを表示させるには

DISP/MENUレバーをMENU側に倒します。
初めて表示するときは、TOP MENUが表示されます。

TOP MENUを表示させるには

メニューページを表示させた状態でコントロールつまみを回して、メニューページの画面右上に表示されているTOPに→を合わせ、コントロールつまみを押します。
メニューの全体構成を示すTOP MENUが表示されます。



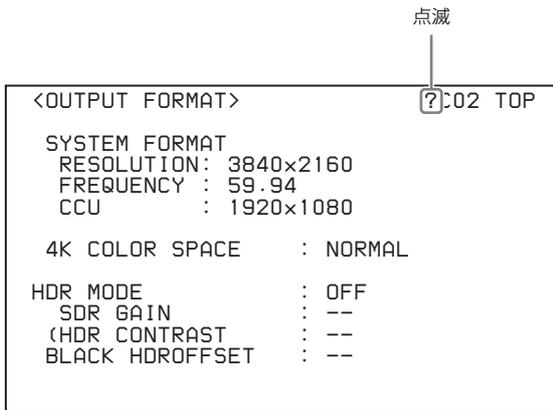
メニュー名	機能
CONFIGURATION	本機の各種設定を行います。
DIAGNOSIS	本機の状態を表示します。

TOP MENUからメニューを選択するには

コントロールつまみを回して、設定したいメニューに→を合わせ、コントロールつまみを押します。
選択したメニュー内の前回操作したページが表示されます。

ページを切り換えるには

- 1 ページ番号の左に→が表示されていることを確認し、コントロールつまみを押す。
→が?マークに変わり、点滅します。



- 2 コントロールつまみを回してページを順次切り換え、設定したいページが表示されたら、コントロールつまみを押す。
?マークが→に戻り、選択したページの操作が可能になります。

メニュー項目を設定するには

ページ番号の左に?マークが表示されているときは、コントロールつまみを押して→に切り換えます。表示されているページの設定が可能になります。

- 1 コントロールつまみを回して設定したい項目に→を合わせ、コントロールつまみを押す。
→が?マークに変わり、点滅します。
- 2 コントロールつまみを回して設定を変更する。
変更した設定を取り消すには
コントロールつまみを押す前にCANCEL/ENTERレバーをCANCEL側に倒すと、設定が元に戻ります。
設定を中断するには
DISP/MENUレバーをMENU側に倒すと、メニュー表示が消えます。
再びDISP/MENUレバーをMENU側に倒すと、設定を再開することができます。
- 3 コントロールつまみを押す。
?マークが→に戻り、設定が確定します。
- 4 続けて同じページの設定項目を変更するには、手順1~3を繰り返す。

入力欄が複数あるメニュー項目を設定するには

メニューには、項目内に複数の入力欄がある項目があります。これらの項目では、項目に→を合わせてコントロールつまみを押すと入力欄が複数表示されるので、各入力欄の設定を行います。カーソルはコントロールつまみを回して移動します。

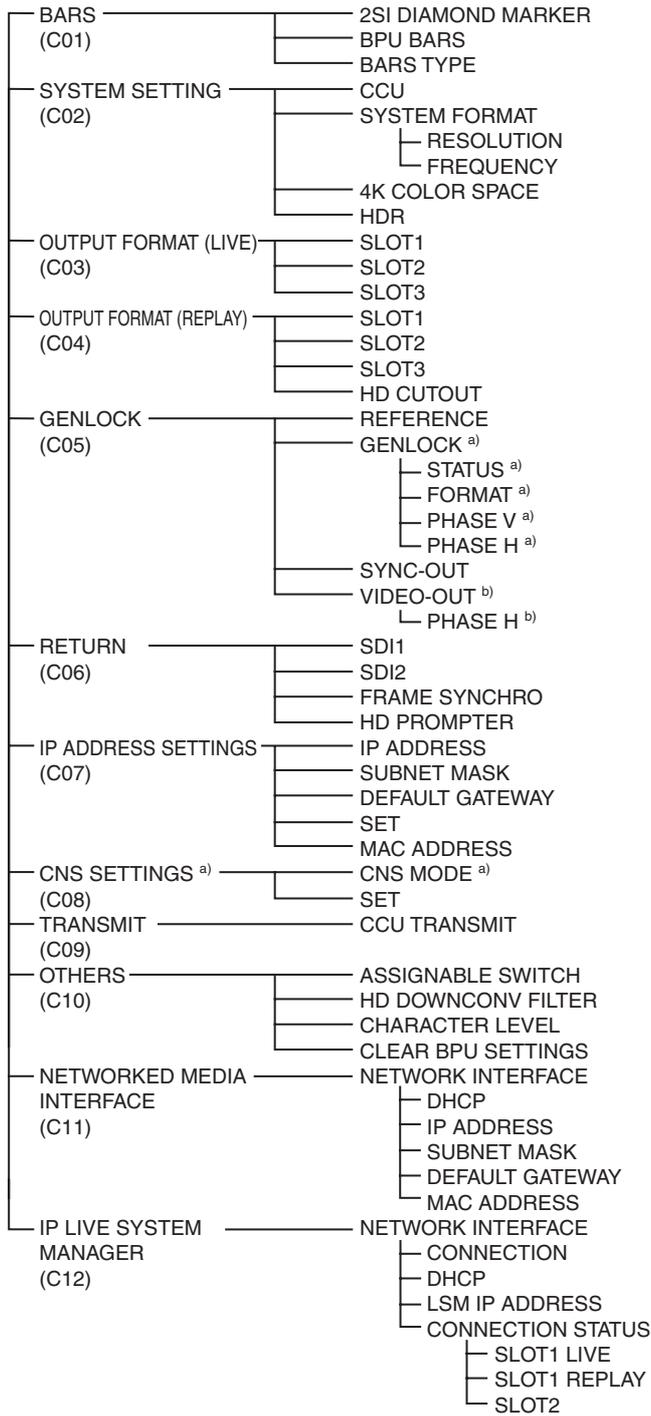
- 1 コントロールつまみを回して設定したい項目に→を合わせ、コントロールつまみを押す。
→が*マークに変わり、点滅します。入力欄と→が表示されます。
- 2 コントロールつまみを回して入力したい欄に→を合わせ、コントロールつまみを押す。
→マークが?マークに変わり、点滅します。
- 3 コントロールつまみを回して設定を変更する。
変更した入力欄の設定を取り消すには
コントロールつまみを押す前にCANCEL/ENTERレバーをCANCEL側に倒すと、入力していた欄の設定が元に戻ります。項目内のほかの入力欄の設定は元に戻りません。
設定を中断するには
DISP/MENUレバーをMENU側に倒すと、メニュー表示が消えます。
再びDISP/MENUレバーをMENU側に倒すと、設定を再開することができます。
- 4 コントロールつまみを押す。
?マークが→に戻り、入力していた欄の設定が変わります。
- 5 手順2~4を繰り返し、他の入力欄を変更する。
- 6 コントロールつまみを回してENDに→を合わせ、メニュー操作つまみを押す。
*マークが→に戻り、項目内のすべての変更が確定します。
項目全体の設定を取り消すには
ESCに→を合わせ、メニュー操作つまみを押してください。
*マークが→に戻り、項目内のすべての変更が破棄されません。

メニューの表示を終了させるには

メニューが表示されている状態で、DISP/MENUレバーをMENU側に倒します。

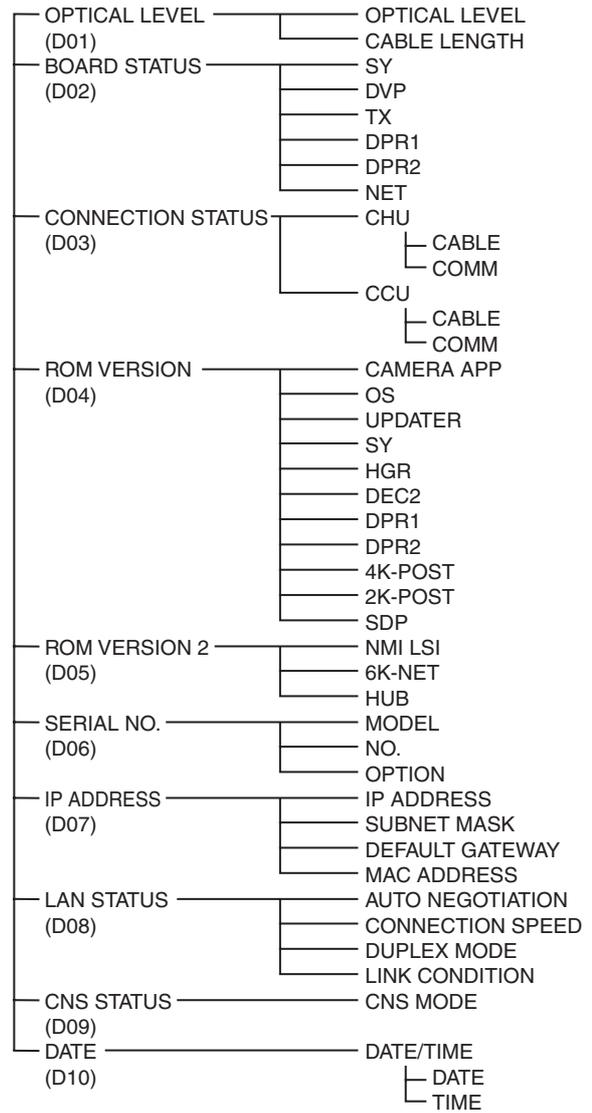
メニューツリー

CONFIGURATIONメニュー



a) CCU 接続時は非表示
 b) CCU 接続時のみ表示

DIAGNOSISメニュー



メニューリスト

凡例

以下の全メニュー表で共通です。

設定値欄の **ON**, **OFF**, **0** など：下線部は出荷時の初期設定値です。

ENTER で実行：コントロールつまみを押す、または CANCEL/ENTER レバーを ENTER 側に倒して、実行する。

CONFIGURATIONメニュー

ページ名 ページ No.	項目	設定値	内容
<BARS> C01	2SI DIAMOND MARKER	OFF , ON	2SI 判別マーカの ON/OFF 設定
	BPU BARS	OFF , ON	BPU カラーバー出力の ON/OFF の設定 (SLOT1/2/3 LIVE のみ出力する)
	BARS TYPE	BAR 16:9 (100%) , BAR 16:9 (75%), SMPTE 16:9 (BLACK), SMPTE 16:9 (-I/Q), BAR 4:3 (100%), BAR 4:3 (75%), SMPTE 4:3 (BLACK), SMPTE 4:3 (-I/Q), MF-ARIB (75%), MF-ARIB (100%), MF-ARIB (+I), MF-SMPTE (-I,Q), MF-SMPTE (75%,Q), MF-SMPTE (100%,Q), MF-SMPTE (+I,Q), HD-CUSTOM, SDI CHECK FIELD, Y-RAMP, Y/C-RAMP, HD-CUSTOM2	カラーバーの種類 CCU 接続時には CCU の設定に連動し、BPU メニューでは変更できない。
<SYSTEM SETTING> (C02)	CCU	1920x1080, 1280x720	CCU への伝送映像の解像度 (表示のみ)
	SYSTEM FORMAT		システムフォーマットの設定
	RESOLUTION	3840x2160 , 1920x1080	(選択されているカメラヘッド設定により、選択可能なシステムフォーマットが異なります。)
	FREQUENCY	59.94 , 50	
	4K COLOR SPACE	NORMAL , WIDE-F, WIDE-BC	SLOT1 における 4K 出力の COLORSPACE 状態 NORMAL : HDC シリーズに近い色域設定 WIDE-F : BT.2020 に近い色域設定 WIDE-BC : BT.2020-BT.709 変換したときに HDC シリーズに近くなる色域設定
	HDR	OFF , HIGH	DYNAMIC RANGE の設定状態
	SDR GAIN	0.0db ~ -15.0db	HDR 出力に対する SDR 出力のゲイン設定 (表示のみ)
	HDR CONTRAST	100% ~ 565%	SDR 出力に対する HDR 出力のコントラスト比 (表示のみ)
	BLACK HDR OFFSET	-99 ~ 99, 0	SDR 出力に対する HDR 出力のブラックオフセット値 (表示のみ)

ページ名 ページ No.	項目	設定値	内容		
<OUTPUT FORMAT (LIVE)> C03	SLOT1		SLOT1 の出力フォーマットの設定		
			3840x2160	SLOT1 の出力映像の解像度の設定	
			SQD , 2SI	SLOT1 の 4K 映像の分割出力方式の設定 SQD : Square Division (田の字分割) 2SI : 2 sample Interleave (SQD 設定時でも IP 出力は 2SI になります。)	
			3G(Lv-A), 3G(Lv-B)	SLOT1 の映像出力方式の設定	
		OETF	SDR , S-LOG3	SLOT1 の OETF 設定 (表示のみ)	
		COLOR	NORMAL , WIDE-F, WIDE-BC	SLOT1 の色域設定 (表示のみ)	
	SLOT2			SLOT2 の出力フォーマットの設定	
				1920x1080	SLOT2 の出力映像の解像度の設定
				3G(Lv-A), 3G(Lv-B)	SLOT2 の映像出力方式の設定
		OETF	SDR	SLOT2 の OETF 設定 (表示のみ)	
		COLOR	NORMAL	SLOT2 の色域設定 (表示のみ)	
	SLOT3 (SDI 出力のみ)			SLOT3 の出力フォーマットの設定	
				HD-SDI	SLOT3 の映像出力方式の設定
			OETF	SDR	SLOT3 の OETF 設定 (表示のみ)
		COLOR	NORMAL	SLOT3 の色域設定 (表示のみ)	
<OUTPUT FORMAT (REPLAY)> C04	SLOT1		SLOT1 の出力フォーマットの設定		
				3840x2160 , 1920x1080	SLOT1 の出力映像の解像度の設定 (表示のみ)
				SQD , 2SI	SLOT1 の 4K 映像の分割出力方式の設定 (表示のみ) SQD : Square Division (田の字分割) 2SI : 2 sample Interleave (SQD 設定時でも IP 出力は 2SI になります。)
			3G(Lv-A) , 3G(Lv-B)	SLOT1 の映像出力方式の設定	
	SLOT2			SLOT2 の出力フォーマットの設定 (表示のみ)	
				1920x1080	SLOT2 の出力映像の解像度の設定
				3G(Lv-A) , 3G(Lv-B)	SLOT2 の映像出力方式の設定
	SLOT3 (SDI 出力のみ)			SLOT3 の出力フォーマットの設定 (表示のみ)	
				HD-SDI	SLOT3 の映像出力方式の設定
		HD CUTOUT	OFF, ON	HD Cutout モードの表示 (表示のみ)	
	<GENLOCK> C05	REFERENCE	CCU, INTERNAL, GENLOCK	使用中の基準同期信号 (表示のみ)	
		GENLOCK			REFERENCE IN 端子に入力された基準同期信号の設定 や状態 (CCU 接続時は非表示)
			STATUS		REFERENCE IN 端子に入力された基準同期信号の状態 (表示のみ)
			FORMAT		REFERENCE IN 端子に入力された基準同期信号の フォーマット (表示のみ)
			PHASE V	-1024 ~ +1023, 0	入力された基準同期信号に対する出力映像の V 方向の位 相 (遅れる方向が正)
PHASE H			-1700 ~ +1700, 0	入力された基準同期信号に対する出力映像の H 方向の位 相 (遅れる方向が正)	
SYNC-OUT		SD SYNC , HD SYNC, (THROUGH)	出力同期信号の SD コンポジットシンク信号と HD3 値 信号の切り換え (REFERENCE IN 端子への入力信号があるときは、 THROUGH モード固定)		
VIDEO-OUT			映像出力の位相調整 (CCU 接続時のみ表示)		
VIDEO OUT PHASE H		-256 ~ +255, 0	本機の内部同期信号に対する映像出力 (SLOT1 ~ SLOT3) の H 方向の位相 (遅れる方向が正)		

ページ名 ページ No.	項目	設定値	内容
<RETURN> C06	SDI1	1080/59.94i(PsF) , 1080/59.94P, 1080/50i(PsF), 1080/50P, NO SIGNAL, ---	SDI1 端子に入力された映像信号のフォーマット (表示のみ) --- : CCU 接続時 エクステンション接続のみ有効
	SDI2	1080/59.94i(PsF) , 1080/59.94P, 1080/50i(PsF), 1080/50P, NO SIGNAL, ---, HD PROMPTER	SDI2 端子に入力された映像信号のフォーマット (表示のみ) --- : CCU 接続時 HD PROMPTER : HD プロンプター ON 時 エクステンション接続のみ有効
	FRAME SYNCHRO	OFF , ON, ---	リターン信号のフレームシンクロナイザーの ON/OFF
	HD PROMPTER	OFF , ON, ---	HD プロンプター機能の ON/OFF エクステンション接続のみ有効
	<IP ADDRESS SETTINGS> C07	IP ADDRESS	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255
	SUBNET MASK	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	サブネットマスクの設定
	DEFAULT GATEWAY	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	ゲートウェイの IP アドレスの設定
	SET	ENTER で実行	
	MAC ADDRESS	00:00:00:00:00:00 ~ FF:FF:FF:FF:FF:FF	本機の MAC アドレス (表示のみ)
<CNS SETTINGS> C08 (CCU 接続時は無効)	CNS MODE	LEGACY, BRIGDE	通信モードの設定
	SET	ENTER で実行	
<TRANSMIT> C09	CCU TRANSMIT	HIGH BIT RATE , HD-SDI	CCU との光信号通信の速度の選択
<OTHERS> C10	ASSIGNABLE SWITCH	OFF , BPU BARS	アサインブルボタンに割り当てる機能の選択
	HD DOWNCONV FILTER	1 ~ 4, 0.3, 0.6	4K 映像信号から HD 信号へダウンコンバートするフィルターの種類
	CHARACTER LEVEL	1 ~ 5	メニューなどの文字の明るさ
	CLEAR BPU SETTINGS	ENTER で実行	本機の設定を工場出荷時に戻す。
<NETWORKED MEDIA INTERFACE> C11	NETWORK INTERFACE	SLOT1 LIVE NMI LAN1 , SLOT 1 LIVE NMI LAN2, SLOT 1 REPLAY NMI LAN1, SLOT 1 REPLAY NMI LAN2, SLOT 2 NMI LAN1, SLOT 2 NMI LAN2	設定 / 表示を行うネットワークインターフェースの選択
	DHCP	OFF, ON	DHCP の有効 / 無効の選択
	IP ADDRESS	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	DHCP 有効時 : 選択されたネットワークインターフェースに対して DHCP から割り当てられた IP アドレスの表示 DHCP 無効時 : 選択されたネットワークインターフェースに対する IP アドレスの設定と表示
	SUBNET MASK	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	DHCP 有効時 : 選択されたネットワークインターフェースに対して DHCP から設定されたサブネットマスクの表示 DHCP 無効時 : 選択されたネットワークインターフェースに対するサブネットマスクの設定と表示
	DEFAULT GATEWAY	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	DHCP 有効時 : 選択されたネットワークインターフェースに対して DHCP から設定されたデフォルトゲートウェイの IP アドレスの表示 DHCP 無効時 : 選択されたネットワークインターフェースに対するデフォルトゲートウェイの IP アドレスの設定と表示
	MAC ADDRESS	00:00:00:00:00:00 ~ FF:FF:FF:FF:FF:FF	選択されたネットワークインターフェースに設定されている MAC アドレス (表示のみ)

ページ名 ページ No.	項目	設定値	内容
<IP LIVE SYSTEM MANAGER> C12	NETWORK INTERFACE	NMI LAN1 , NMI LAN2	設定 / 表示を行うネットワークインターフェースの選択
	CONNECTION	DISABLE, ENABLE	選択されたネットワークインターフェースに対して、IP LIVE SYSTEM MANAGER（以後 LSM とする）と接続するかどうかの設定
	DHCP	OFF, ON , (OFF)	DHCP の情報を使って LSM と接続するかどうかの設定。 (NETWORKED MEDIA INTERFACE ページの DHCP 設定が OFF の場合は、この機能は無効になり OFF と表示される。)
	LSM IP ADDRESS	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	LSM の IP アドレスの設定。SET を実行すると、設定が反映される。DHCP 項目が ON の時は無効。
	CONNECTION STATUS		
	SLOT1 LIVE	DISCONNECTED, CONNECTING, CONNECTED	SLOT1 LIVE の選択されたネットワークインターフェースに対して、LSM との接続状態を表示する。
	SLOT1 REPLAY	DISCONNECTED, CONNECTING, CONNECTED	SLOT1 REPLAY の選択されたネットワークインターフェースに対して、LSM との接続状態を表示する。
SLOT2	DISCONNECTED, CONNECTING, CONNECTED	SLOT2 の選択されたネットワークインターフェースに対して、LSM との接続状態を表示する。	

DIAGNOSISメニュー

ページ名 ページ No."	項目	表示	内容	
<OPTICAL LEVEL> D01	OPTICAL LEVEL	バーによる表示	本機とビデオカメラ、本機と CCU の間の受光状態がバーで表示される。	
	CABLE LENGTH	x.x km	CCU とカメラヘッド間の光ファイバーケーブルの距離	
<BOARD STATUS> D02	SY	OK, NG	本機の内部基板の状態	
	DVP	OK, NG		
	TX	OK, NG		
	DPR1	OK, NG		
	DPR2	OK, NG		
	NET	OK, NG		
<CONNECTION STATUS> D03	CHU	CABLE	OPEN, CONNECTED	ビデオカメラとの結線状態
		COMM	OK, NG, ---	ビデオカメラとの通信状態 --- : OPEN のとき
	CCU	CABLE	OPEN, CONNECTED	CCU との結線状態
		COMM	OK, NG, ---	CCU との通信状態 --- : OPEN のとき
<ROM VERSION> D04	CAMERA APP	バージョン番号、日付、機種名	各機器に搭載されている ROM のバージョン情報	
	OS	OS のバージョン		
	UPDATER	ソフトウェアアップデート用のソフトウェアのバージョン		
	SY	Vx.xx		
	HGR	Vx.xx		
	DEC2	Vx.xx		
	DPR1	Vx.xx		
	DPR2	Vx.xx		
	4K-POST	Vx.xx		
	2K-POST	Vx.xx		
	SDP	Vx.xx		
<ROM VERSION 2> D05	NMI LSI	Vx.xx	IP 出力用 LSI のソフトウェアのバージョン	
	6K-NET	Vx.xx	PLD のバージョン	
	HUB	Vx.xx	PLD のバージョン	

ページ名 ページ No."	項目	表示	内容
<SERIAL NO> D06	MODEL	機種名	
	NO	シリアル番号	
	OPTION	オプション名	インストール済みのオプションを表示
<IP ADDRESS> D07	IP ADDRESS	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	本機の IP アドレス (表示のみ)
	SUBNET MASK	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	サブネットマスク (表示のみ)
	DEFAULT GATEWAY	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	ゲートウェイの IP アドレス (表示のみ)
	MAC ADDRESS	00:00:00:00:00:00 ~ FF:FF:FF:FF:FF:FF	本機の MAC アドレス (表示のみ)
<LAN STATUS> D08	AUTO NEGOTIATION	OFF, ON	オートネゴシエーションの設定状態
	CONNECTION SPEED	10M,100M	接続速度
	DUPLEX MODE	HALF, FULL	デュプレックスモードの設定状態
	LINK CONDITION	DOWN,UP	LAN 接続の状態
<CNS STATUS> D09	CNS MODE	LEGACY, BRIDGE	通信モードの設定状態
<DATE> C10	DATE/TIME		
	DATE	2013.**.** ~ 20**.**.**	日付の表示
	TIME	00:00 ~ 23:59	時刻の表示

Web メニューの設定

Web メニューの表示

本機の設定・操作は、コンピューターからネットワークを介して本機に接続し、コンピューターのWebブラウザにWebメニューを表示して行います。

動作確認環境

Webブラウザ：

- Windows：Microsoft Internet Explorer 11、Google Chrome 51、Firefox 46、Opera 37、Safari 5
- Mac OS：Safari 6

ディスプレイ：横幅1024ピクセル以上

上記推奨環境を備えたコンピューターを本機背面のNETWORK端子1または2に接続します。コンピューターのWebブラウザのアドレス欄に「http://（本機のIPアドレス）/」と入力してWebメニューを表示させます。ユーザー名の入力を求められるので、「usr1」と入力し、[Log on] ボタンをクリックしてください。工場出荷時、本機のNETWORK端子には次のIPアドレスが設定されています。

- NETWORK 端子 1：192.168.0.1
- NETWORK 端子 2：192.168.0.2

IPアドレスを変更した場合は、変更後のアドレスを指定してください。接続するIPアドレスは、Webメニューの[System]画面 > [Network] タブで変更できます。

ご注意

- ネットワークの設定内容については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- プロキシサーバーの設定によっては、ネットワークに接続できない場合があります。
- 本機にコンピューターを複数セッション接続している場合、設定操作が重なると適切な設定が行えないことがあります。このような場合は、設定をやり直してください。
- NETWORK 3 端子に接続したコンピューターから Web メニューを表示させることはできません。Web メニューを表示させる場合は、必ずコンピューターを NETWORK 端子 1 または 2 に接続してください。

設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。

ネットワークの設定

IPアドレスなどネットワークに関する設定は、Webメニューの[System]画面 > [Network] タブで行います。設定内容について詳しくは、「Networkタブ」（30ページ）をご覧ください。

[Network] タブで各項目を設定したら [Submit] ボタンをクリックしてください。確認メッセージが表示され、[OK] をク

リックすると本機の再起動が行われます。再起動後、設定が有効になります。

次回からWebメニューを表示する場合は、設定したIPアドレスを入力してください。

ネットワークからのアクセスについて

ネットワークケーブルを使用してファイルにアクセスする場合、記録・再生中のファイル転送も可能です。

ただし、SDI 入出力が優先されるため、ネットワークを介した場合の転送速度は、入出力ポートの使用状況によって低下することがあります。

システムおよびボードの設定

本機のシステム周波数および各ボードの設定をWebメニューで行います。設定は、ウィザード形式で行います。

- 1 Webメニューで [System] 画面を表示し、[Board] タブをクリックする。
- 2 [Setting] ボタンをクリックする。
[Step 1] 画面が表示されます。
- 3 下記の設定項目を確認または設定し、[NEXT] ボタンをクリックする。

System Frequency

BPUメニューで設定されているシステム周波数（25 Hzまたは29.97 Hz）が表示されます。

Replay Port + XAVC Transcode Port

Replay PortとXAVC Transcode Portの使用方法として、次のいずれかを選択します。

- Replay Port
- HD Cut Out Port

HFR Data Record Port

BPUメニューで設定されている、高フレームレート記録ポートの現在の記録モードが表示されます。

Replay Port / HD Cut Out Port

リプレイポートの現在の再生モードが表示されます。

HD Cut Out Port設定の場合に限り、[Slot 1 Configuration] を設定して、ボードの設定を行います。

ご注意

システム周波数および記録モードは、BPUメニュー（14ページ）で設定を変更します。

[Next] ボタンをクリックすると、[Step 2] 画面が表示されます。

- 4 表示されている設定内容に問題がなければ、[Submit] ボタンをクリックする。確認メッセージが表示されるので、[OK] をクリックする。
設定内容によっては、自動的に本機が再起動され、設定が有効になります。

各ポートの個別設定は、Webメニューの「Port画面」（33ページ）を使用します。

ご注意

BPUメニューでシステム周波数や各ボードの設定を変更すると、ループ記録領域の設定が無効になります。必要に応じて、Webメニューの [Storage] 画面の [Loop] タブで設定をし直してください。

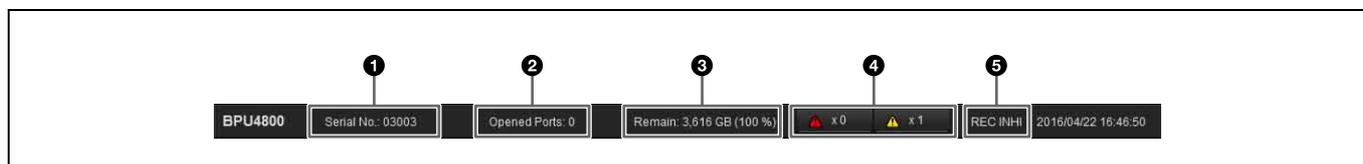
Web メニューの構成

本機のWebメニューには、下記の画面があります。

Home 画面：本機の各ボードおよびネットワークの動作状態を表示します。

タイトルバー

Webメニューの各画面に共通して表示されます。



① シリアル番号

本機のシリアル番号を表示します。

② オープンしているポート数

③ ストレージ残量

④ エラー / ワーニング表示

エラーまたはワーニングが発生しているときに、発生数を表示します。

表示をクリックすると、エラー / ワーニングの詳細が表示されます。

⑤ REC INHI 表示

記録禁止状態のときに赤色で表示します。

記録可能状態のときは、白色に表示します。

Status 画面：本機に発生しているエラーおよびワーニングのリストを表示します。

System 画面：本機の基本的な設定を行います。

Port 画面：本機の各ポートの設定を行います。

File 画面：ファイルリストを表示します。

Storage 画面：本機のメモリーに関する設定 / 操作を行います。

Maintenance 画面：本機のメンテナンス時に使用します。この画面について詳しくは、メンテナンスマニュアルをご覧ください。

SNMP 画面：SNMP の設定時に使用します。この画面について詳しくは、メンテナンスマニュアルをご覧ください。

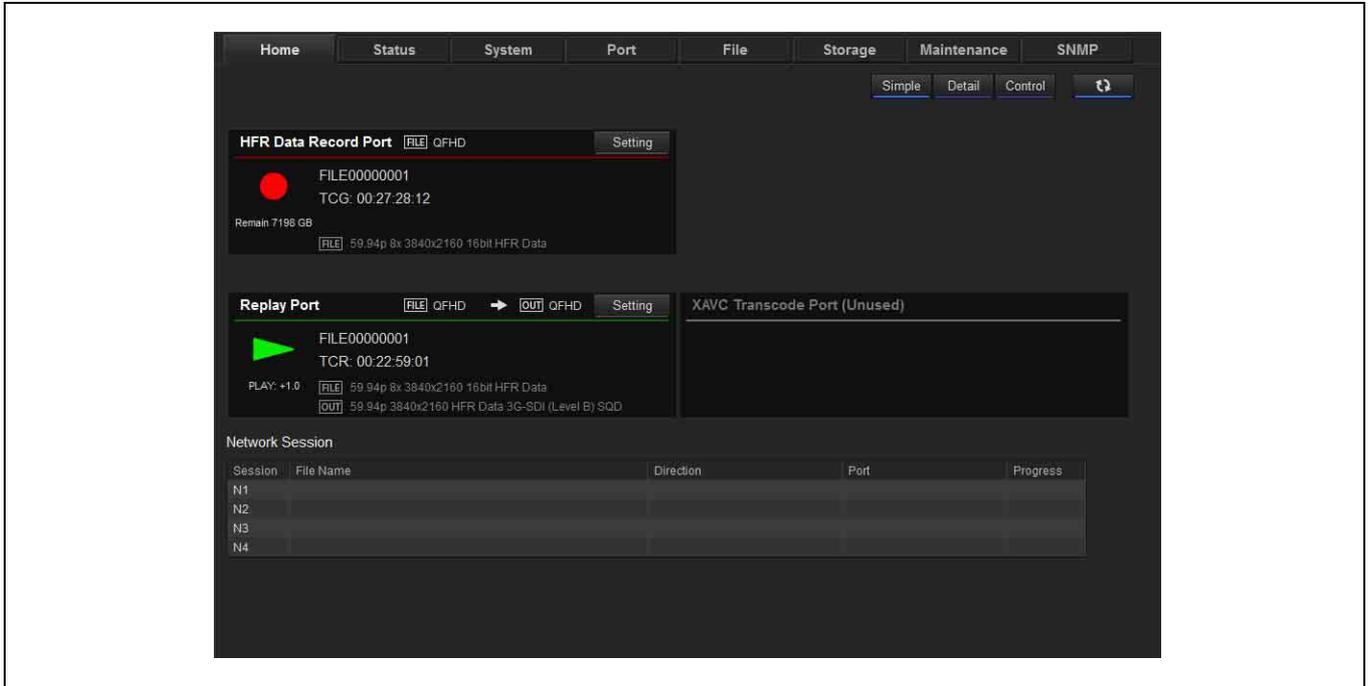
なお、各画面の説明で下線の選択肢は、その項目の初期設定値です。

Home 画面

本機の各ボードおよびネットワークの動作状態を表示します。HOME画面には、簡易表示モードと詳細表示モードがあります。モードは [Simple] / [Detail] ボタンで切り換えます。

 ボタンをクリックしてオンにすると、画面の表示が自動的に更新されます。

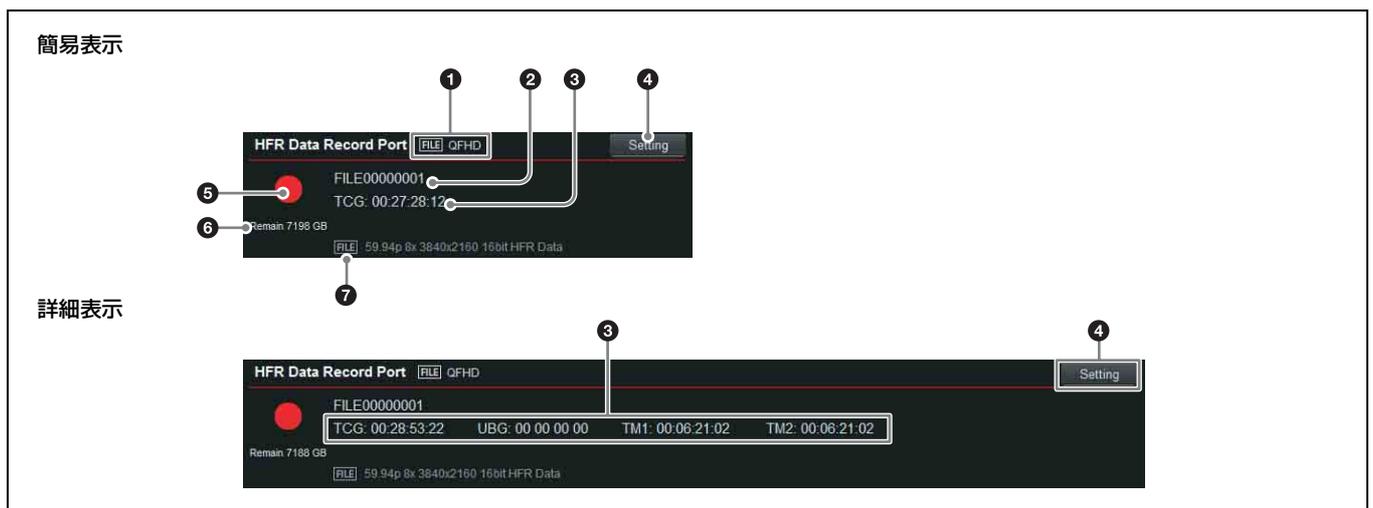
[Control] ボタンはサービス担当者専用の機能です。使用にはパスワードが必要です。



Home画面には、各ポートの状態が表示されます。

HFR Data Record Port（高フレームレート記録ポート）

下記の情報が表示されます。



① 記録フォーマット

[FILE] に記録するビデオフォーマットを表示します。

② ファイル名

記録中のファイル名を表示します。記録前は「Next: FILE」と表示します。

③ タイムコード表示

タイムコードデータ (TCG) を表示します。

詳細表示モードでは、同時にUBG、TM1、TM2も表示します。

④ [Setting] ボタン

該当ポートの [Port] 画面 (33ページ) を表示して、ポートの設定を行います。

5 REC 表示

記録中に●マークを表示します。

ループ記録領域が設定されている場合は、アイコンを表示します。

6 残容量

メモリの残容量を表示します。

ループ記録を設定している場合は、ループ記録領域として割り当てた容量のうち、書き込み（上書き）可能な領域の容量を表示します。ループ記録では、記録領域が一巡すると先頭から上

書きして記録を続けますが、ループ記録領域のファイルにサブクリップを作成した場合、サブクリップの領域は上書きができなくなります。そのため、サブクリップの容量が大きいと、ループ記録に使用できる領域が少なくなります。

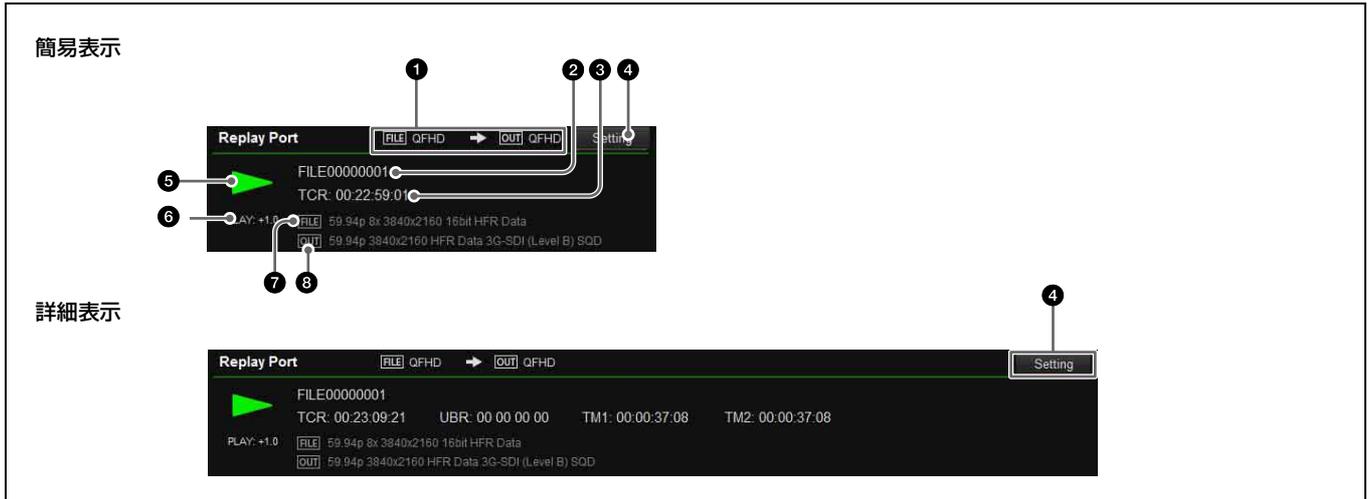
また、ループ記録領域にサブクリップを作成した結果、ループ記録に使用できる残容量が5分未満となった場合は、新たにサブクリップを作成することができません。

7 [FILE]

記録ファイルのビデオフォーマットを表示します。

Replay Port/HD Cut Out Port（リプレイポート/HDカットアウトポート）

下記の情報が表示されます。



1 ファイル/出力フォーマット

[FILE] にファイルのビデオフォーマットを、[OUT] に出力信号のビデオフォーマットを表示します。

2 ファイル名

再生中のファイル名を表示します。サブクリップを再生している場合は、ファイル名の横に[Sub]と表示されます。

3 タイムコード表示

タイムコードデータ（TCR）を表示します。

詳細表示モードでは、同時にUBR、TM1、TM2も表示します。

4 [Setting] ボタン

該当ポートの [Port] 画面（33ページ）を表示して、ポートの設定を行います。

5 再生表示

- 再生時に「▶」を表示します。また再生モードとして次のいずれかを表示します。
- 表示なし：ファイルを通常再生中
-  (File Repeat)：ファイルをリピート再生中
-  (List)：プレイリストを通常再生中
-  (List Repeat)：プレイリストをリピート再生中

6 再生状態表示

再生状態として次のいずれかを表示します。

- CLOSE
- STOP
- PLAY（再生速度）
- SHUTTLE（再生速度）
- JOG（FWD/REV）
- VAR（再生速度）

- STILL

7 [FILE]

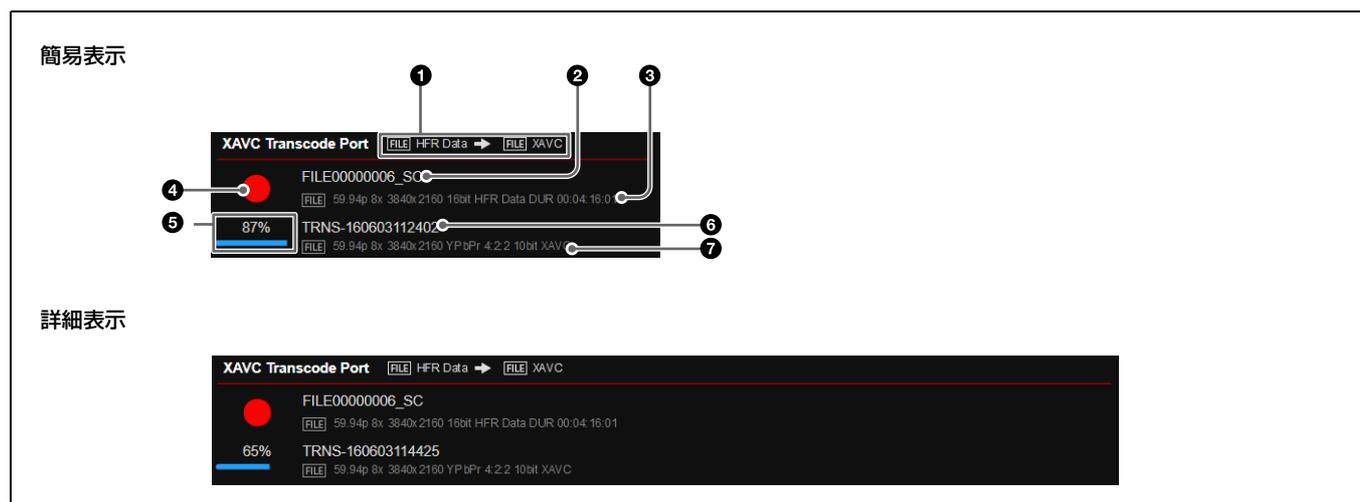
再生中のファイルのビデオフォーマットを表示します。

8 [OUT]

出力中のビデオ信号のビデオフォーマットを表示します。

XAVC Transcode Port (XAVCトランスコードポート)

下記の情報が表示されます。



① コーデック

トランスコード元のファイルのコーデックと、トランスコードによって作成されたファイルのコーデックを表示します。

② トランスコード元のファイル名

トランスコード元の素材のファイル名が表示されます。

③ トランスコード元ファイルのフォーマット

トランスコード元の素材のファイルのビデオフォーマットが表示されます。

④ トランスコード状態表示

トランスコード中に●を表示します。

⑤ トランスコード処理状況表示

トランスコードの処理状況を表示します。

⑥ トランスコードファイル名

トランスコードによって作成されるビデオのファイル名を表示します。

⑦ トランスコードフォーマット

トランスコードによって作成されたファイルのビデオフォーマットを表示します。

Network Session

ネットワーク接続の動作状態を表示します。

下記の情報が表示されます。

Session

セッション名 (N1~N4) を表示します。

File Name

転送中のファイル名を表示します。

Direction

転送する方向 (本機→コンピューター、本機←コンピューター) をアイコンで示します。

Port

使用しているNETWORK端子を表示しています。

Network 1/2 (1GbE)

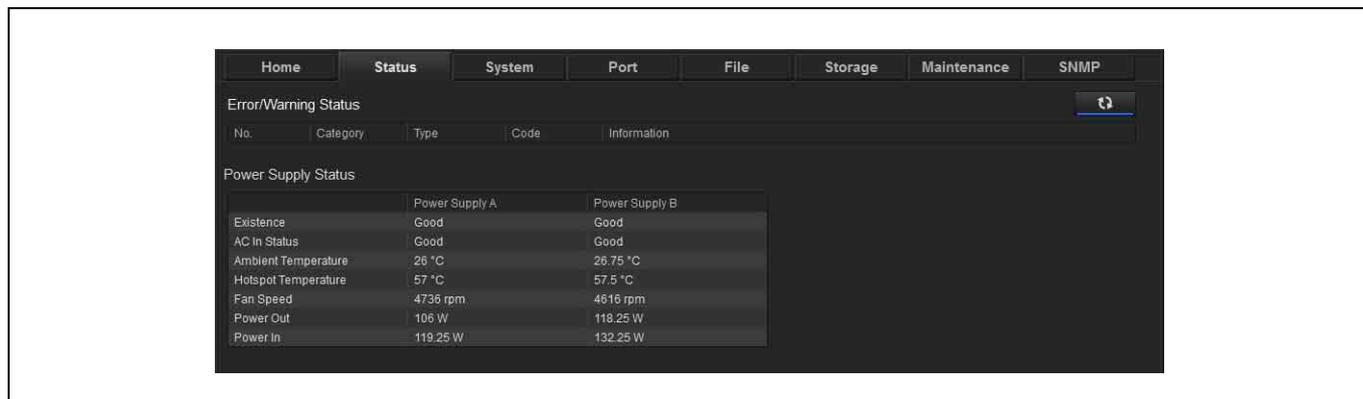
Network 3 (10GbE)

Progress

転送の進捗状況を表示します。

Status 画面

本機で発生中のエラー /ワーニングのリストおよび電源供給のステータスを表示します。  ボタンがオンになっている場合は、表示が自動的に更新されます。



Error/Warning Status

エラーおよびワーニングのリストを表示します。

Power Supply Status

AC電源ユニットの状態を表示します。

Existence

AC電源ユニットが認識されているかどうかを表示します。

AC In Status

AC入力の有無を表示します。

Ambient Temperature

本機周囲の温度を表示します。

Hotspot Temperature

ホットスポットの温度を表示します。

Fan Speed

ファンの回転速度を表示します。

Power Out

出力電力を表示します。

Power In

入力電力を表示します。

System 画面

本機の基本的な設定を行います。

Boardタブ

ウィザード形式で入出力ボードの設定を行います。画面下部の [Setting] ボタンをクリックして設定を開始します。

設定について詳しくは、「システムおよびボードの設定」(22 ページ) をご覧ください。

Step1

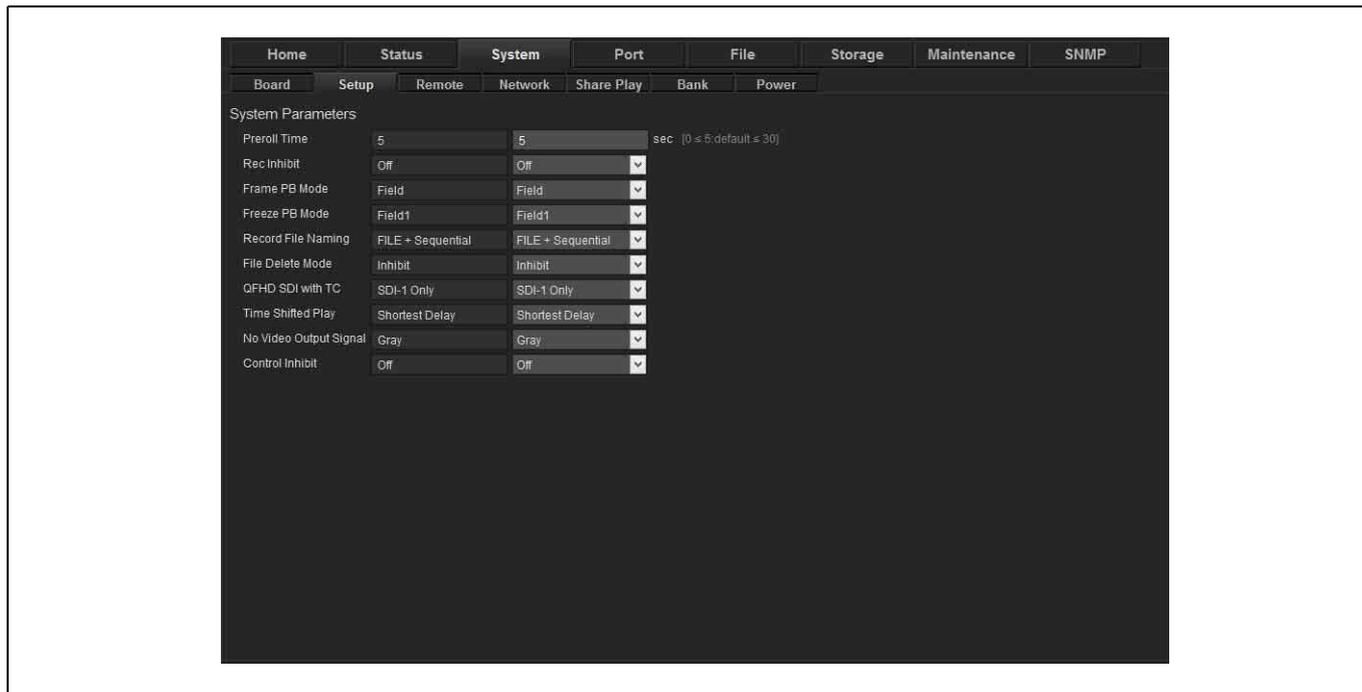
本機のポート構成と、HD Cut OutおよびXAVC Transcodeを使用するかどうかを選択します。

Step2

Step1で選択した内容を確認し、設定を確定させます。

Setupタブ

本機の基本的な動作モードを設定します。



System Parameters

Preroll Time

プリロール時間を秒単位で設定します。

- 0 ~ 5 ~ 30 秒

Rec Inhibit

記録禁止モードを設定します。

- Off : 記録可能
- On : 記録禁止

Frame PB Mode

バリエーション再生時の再生モードを選択します。

- Field : フィールド再生
- Frame : フレーム再生

Freeze PB Mode

マニュアルフリーズ (REMOTE 1/2 (9P) 端子、GPIO (25P) 端子でのフリーズコントロール)、またはオートフリーズ時のフリーズモードおよびフリーズタイミングを指定します。

- Field 1 : 1st (odd) フィールドをフリーズする
- Field 2 : 2nd (even) フィールドをフリーズする
- Frame : フレームモードでフリーズする

Record File Naming

自動生成するファイル名の命名方法を選択します。

- File + Sequential : 連番を付与する
- Serial + Time : 記録を行った日時をファイル名とする
- User Specified Name : ファイル名の先頭 4 文字をユーザーが指定する (Port 画面 HFR Data Record Port タブの User Specified Name で設定)

File Delete Mode

再生中またはファイル転送 (エクスポート) 中のファイルに対する Delete コマンドを受信したときにファイルを削除するかどうかを選択します。

- Inhibit : 再生中または転送中のファイルの削除を禁止する。
- Permit : 再生中のファイルは、ポートをクローズしてから削除する。転送中のファイルは、転送を中断して削除する。

QFHD SDI with TC

ビデオフォーマットに QFHD を指定した場合に、タイムコードを SLOT 1 REPLAY SDI OUT 1/2 から出力する信号だけに重畳するか、すべての SDI 信号に重畳するかを選択します。

- SDI-1 only
- All SDI

Time Shifted Play

追いかけて再生時に、バッファに保存した映像を使用して最短ディレイで再生できるようにするか、常にストレージに記録した映像を再生するかを選択します。

- Shortest Delay
- From Storage Only

No Video Output Signal

入力ポートで入力信号がない場合または出力ポートで何も再生していない場合に、本線出力およびモニター出力の表示色を選択します。

- Gray
- Dark Gray
- White
- Black

Control Inhibit

On を選択すると、Web メニューでの設定変更がすべて禁止されます。

Protocol Setting

VDCP Clip End Mode

VDCPでの連続再生中にクリップのエンド点に到達した場合に、自動的に次のクリップを再生するか、停止するかを設定します。

- Auto Play：クリップのエンド点に到達したら、自動的に次のクリップを再生します。
- Stop：リモートから Play コマンドを受信しない限り、クリップのエンド点で停止します。

Networkタブ

ネットワークの設定を行います。

Home	Status	System	Port	File	Storage	Maintenance	SNMP	
Board	Setup	Remote	Network	Share Play	Bank	Power		
Network 1 (1GbE)								
IP Address	192	168	0	1	192	168	0	1
Subnet Mask	255	255	255	0	255	255	255	0
Default Gateway	0	0	0	0	0	0	0	0
Submit Cancel								
Network 2 (1GbE)								
IP Address	192	168	0	2	192	168	0	2
Subnet Mask	255	255	255	0	255	255	255	0
Default Gateway	0	0	0	0	[Network 1 Common]			
Submit Cancel								
Network 3 (10GbE)								
IP Address	192	168	0	10	192	168	0	10
Subnet Mask	255	255	255	0	255	255	255	0
Default Gateway	0	0	0	0	0	0	0	0
MTU	1500			1500				
Submit Cancel								
FTP Server								
Activation	On	On						
Importing File Naming	Adding [Tmp_]	Adding [Tmp_]						
Import Clips with Odd Frames (50p & 59.94p)	Not Acceptable	Not Acceptable						
PRCM Setting								
Port Number	50000			50000				
PRCM 1 Connection	Disable	Disable						
PRCM 1 IP Address	0	0	0	0	0	0	0	0
Submit Cancel								

Network 1 (1GbE)

NETWORK 1端子のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。

工場出荷時には次の値が設定されています。

IP Address：192.168.0.1

Subnet Mask：255.255.255.0

Default Gateway：0.0.0.0

Network 2 (1GbE)

NETWORK 2端子のIPアドレスとサブネットマスクを設定します。デフォルトゲートウェイは、Network 1で設定した値が表示されます。

工場出荷時には次の値が設定されています。

IP Address：192.168.0.2

Subnet Mask：255.255.255.0

GPIO Parallel Input Setup

GPIO (25P) 端子の入力側コマンドをアサインします。

1番ピンから11番ピンまで、それぞれ32バイト設定できます。

GPIO Parallel Output Setup

GPIO (25P) 端子の出力側コマンドをアサインします。

13番ピンから24番ピンまで、それぞれ32バイト設定できます。コマンドについて詳しくは、インターフェースマニュアルをご覧ください。

Network 3 (10GbE)

10Gビットネットワークを使用する際の、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよびMTUを設定します。

工場出荷時には次の値が設定されています。

IP Address：192.168.0.10

Subnet Mask：255.255.255.0

Default Gateway：0.0.0.0

MTU：1500

FTP Server

Activation

インポート/エクスポートに使用するFTPのポートの有効/無効を切り換えます。

Importing File Naming

インポート中のファイル名の先頭に「Tmp_」を付けるかどうかを選択します。

- Off
- Adding [Tmp_]

Import Clips with Odd Frames (50p & 59.94p)

50pまたは59.94pのファイルをインポートする際に最終フレームが奇数だった場合の処理を選択します。

- Not Acceptable：インポートしない
- Acceptable (Omit Last Frame)：最終フレームを削除してインポートする

Share Playタブ

Share Playの設定を行います。

The screenshot shows the 'Share Play Network Setting' configuration page. The interface includes a navigation menu at the top with tabs for Home, Status, System, Port, File, Storage, Maintenance, and SNMP. Below this, there are sub-tabs for Board, Setup, Remote, Network, Share Play, Bank, and Power. The 'Share Play Network Setting' section is active, showing DHCP set to 'Off'. Under 'Primary', there are input fields for IP Address, Subnet Mask, and Default Gateway, all set to 0.0.0.0. The 'Share Play Video Format' section shows 'Current' settings as 59.94p QFHD: 3840 x 2160 16bit HFR Data. A table below allows selecting video formats, with 59.94p QFHD: 3840 x 2160 16bit HFR Data selected. The 'Next' section shows 'Next' settings as 59.94p QFHD: 3840 x 2160 16bit HFR Data, 'Maximum Tx Number' set to 2, and 'Tx: Rx' set to 0:4. A 'Change Current Setting' section contains a warning: 'This setting has the following restrictions. - We need to reboot the server. - All ports will be closed automatically.' At the bottom are 'Submit' and 'Cancel' buttons.

Share Play Network Setting

Share Playを使用する際のネットワーク設定をします。

DHCP

この設定項目はOff固定です。[Primary] 以下の設定項目で、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定します。

Share Play Video Format

Share Playの対象とするビデオフォーマットをマトリックスから選択します。このビデオフォーマットでストレージネットワークの帯域を保証するShare Playの出力素材本数 (Tx)、入力素材本数 (Rx) を設定します。

PRCM Setting

PRCマネージャーを使用する際のネットワーク設定をします。

Port Number

PRCマネージャーのポート番号を設定します。

PRCM 1 Connection

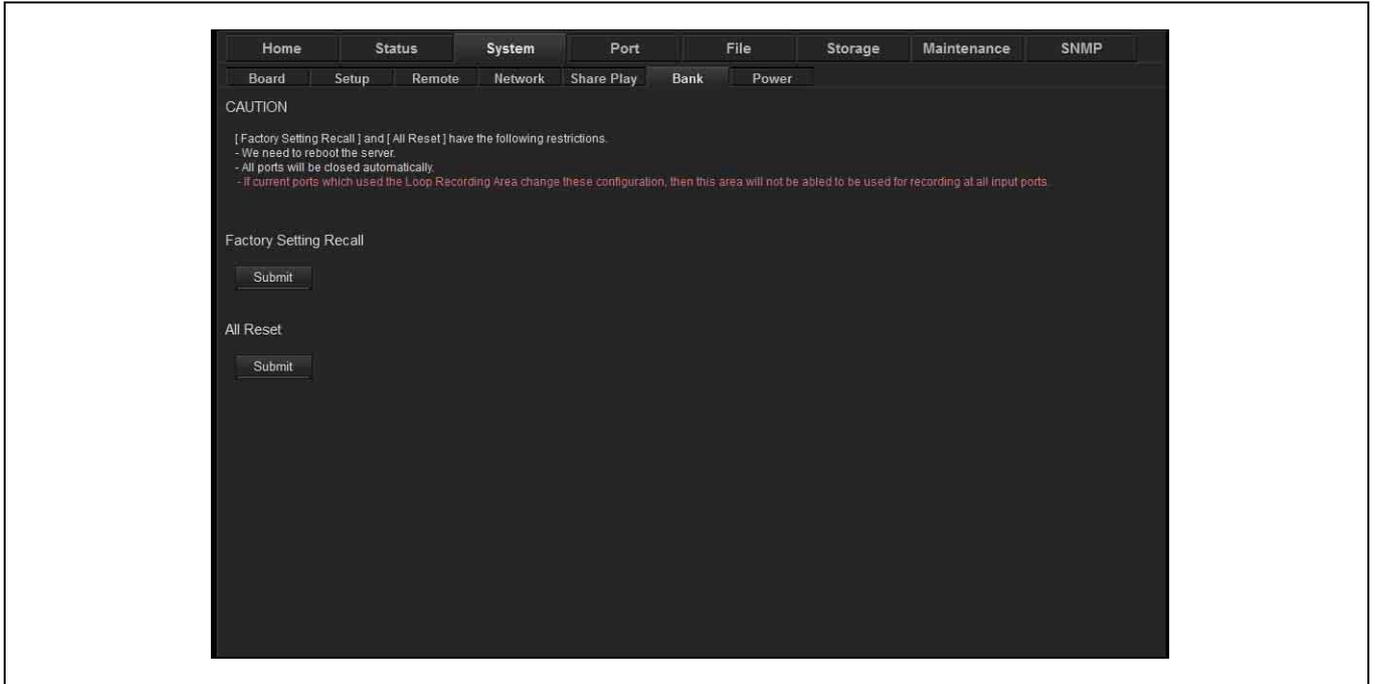
PRCマネージャー 1と接続するかどうかを選択します。

PRCM 1 IP Address

PRCマネージャー 1のIPアドレスを設定します。

Bankタブ

設定を保存するユーザーバンクについての設定を行います。



Factory Setting Recall

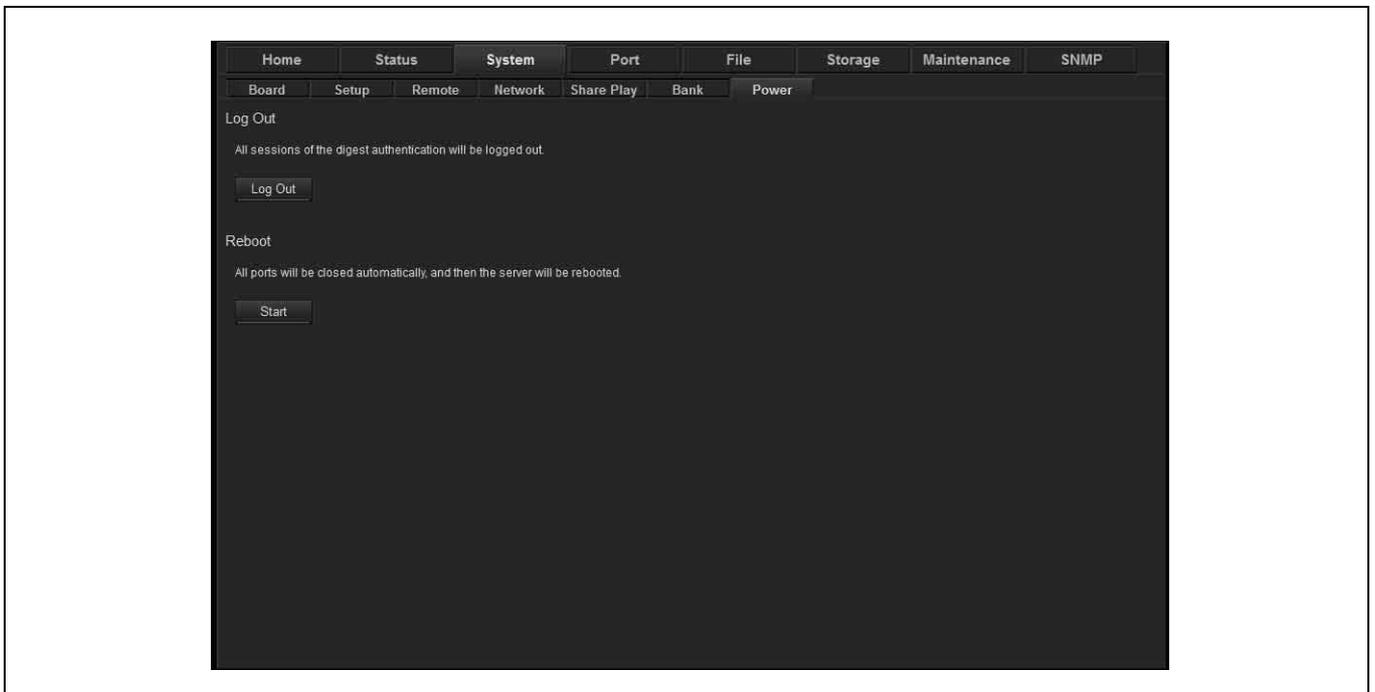
[Submit] ボタンをクリックすると、System画面の設定を工場出荷時の状態に戻します。

All Reset

[Submit] ボタンをクリックすると、すべての設定をリセットします。IPアドレスなどのネットワーク設定やバンクに保存したメニュー設定もリセットされます。

Powerタブ

本機の起動・停止の操作を行います。



Log Out

[Log Out] ボタンをクリックすると、Webメニューからログアウトします。

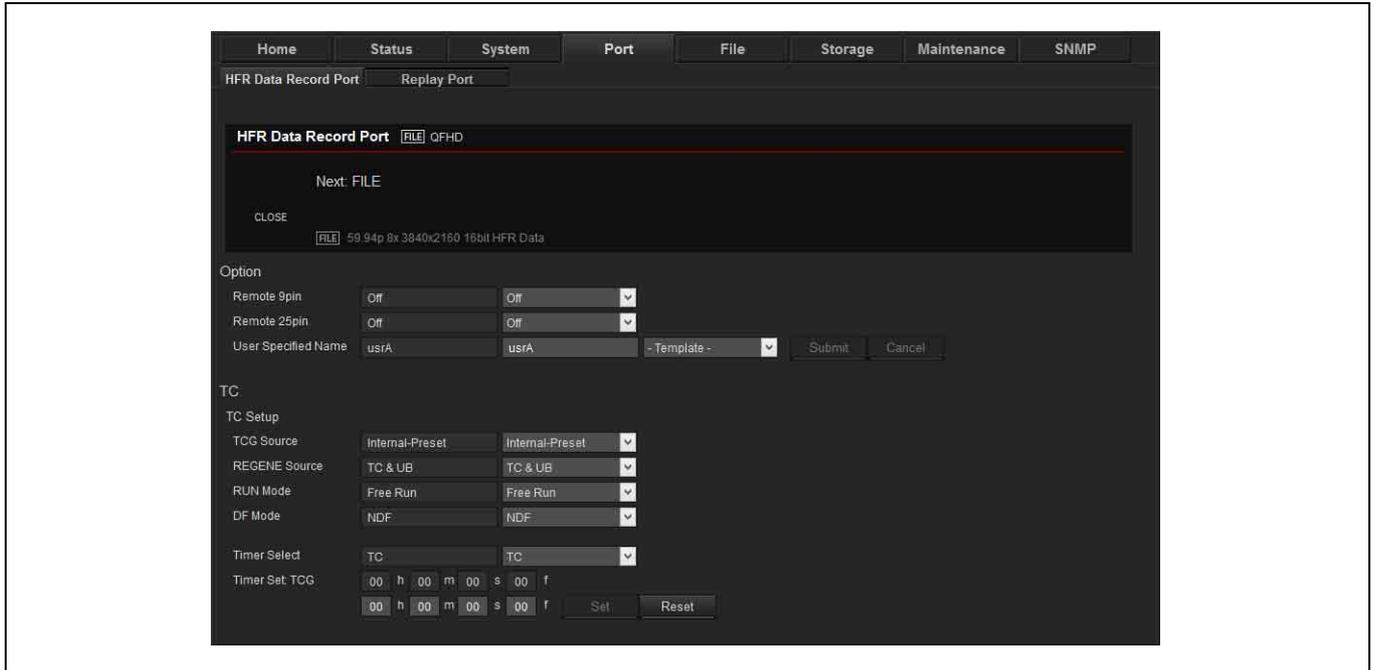
Reboot

[Start] ボタンをクリックすると、すべてのポートをクローズして、本機を再起動します。

Port 画面

本機の各ポートの設定を行います。

HFR Data Record Port (高フレームレート記録ポート)



ポート情報

選択したポートの動作状態を表示します。表示内容は、Home画面と同じです。

Option

Remote 9pin

REMOTE 1/2端子に接続した機器からのリモート制御を有効にするかどうかを選択します。

- [Off](#)
- [On](#)

Remote 25pin

GPIO (25P)端子に接続した機器からのリモート制御を有効にするかどうかを選択します。

- [Off](#)
- [On](#)

User Specified Name

記録ファイル名の先頭4文字を設定します。テキストボックスに任意の文字を入力するか、リストボックスから選択します。この設定を有効にするためには、System画面のSetupタブで、Record File Namingの設定をUser Specified Nameにする必要があります。

TC

タイムコードの設定を行います。

TCG Source

内蔵タイムコードジェネレーターを同期させる信号を選択します。

- [Internal-Preset](#)
- [External-LTC](#)

REGENE Source

タイムコードジェネレーターがリジェネレートモードまたは自動編集モードのとき、リジェネレートする信号を選択します。

- [TC&UB](#)：タイムコード信号とユーザービット信号をともにリジェネレートする
- [TC Only](#)：タイムコード信号のみリジェネレートする
- [UB Only](#)：ユーザービット信号のみリジェネレートする

RUN Mode

タイムコードジェネレーターの歩進モードを設定します。

- [Free Run](#)：本機の動作モードに関わらず、電源が投入されていればタイムコードが歩進する
- [Rec Run](#)：記録時のみタイムコードが歩進する

DF Mode

タイムコードジェネレーターやタイマーカウンターのドロップフレームモードを設定します。

- [NDF](#)
- [DF](#)

ご注意

この設定は、[TCG Source] に「Internal-Preset」が設定されていて、フレーム周波数が29.97 Hzのときのみ有効です。

Timer Select

表示するタイムデータを選択します。

- [TC](#)
- [UB](#)
- [TM1](#)
- [TM2](#)

Timer Set

タイムカウンターを表示します。

カウンターを変更する場合は、数値を入力して、[Set] ボタンをクリックします。[Reset] ボタンをクリックすると、カウンターがリセットされます。

ご注意

[Timer Select] にTC、UB、またはTM1を設定したときのみ表示されます。

Replay Port/HD Cut Out Port (リプレイポート/HDカットアウトポート)

The screenshot shows the 'Replay Port' configuration page. At the top, there are tabs for 'Home', 'Status', 'System', 'Port', 'File', 'Storage', 'Maintenance', and 'SNMP'. Below the tabs, there are sub-tabs for 'HFR Data Record Port' and 'Replay Port'. The 'Replay Port' section shows 'FILE: NONE' and 'OUT: QFHD'. Below this, there is a 'CLOSE' button and a status bar showing 'OUT: 59.94p QFHD: 3840x2160 HFR Data 3G-SDI (Level B) S/D'. The 'Option' section includes settings for Remote 9pin, Remote 25pin, Continuous Mode, Feed Play Mode, and Forced Shuttle Mode. The 'TC' section includes TC Setup (TCR Select, DF Mode, TC OUT) and TIMER Select. The 'Character' section includes settings for Character On/Off, Character Size, Vertical Position, Horizontal Position, Character Info., Background, Sub Status, and Warning Display. There are 'Set' and 'Reset' buttons at the bottom of the TC section, and 'Submit' and 'Cancel' buttons at the bottom of the Character section.

ポート情報

選択したポートの動作状態を表示します。表示内容は、Home画面と同じです。

Option

Remote 9pin

REMOTE 1/2 (9P)端子に接続した機器からのリモート制御を有効にするかどうかを選択します。

- [Off](#)
- [On](#)

Remote 25pin

GPIO (25P)端子に接続した機器からのリモート制御を有効にするかどうかを選択します。

- [Off](#)

- [On](#)

Continuous Mode

プレビューのファイル単位、リスト単位の選択または繰り返し動作を設定します。

- [Single File Normal](#)
- [Single File Repeat](#)
- [File List Normal](#)
- [File List Repeat](#)

Feed Play Mode

フィードプレイの再生速度を指定します。PWA-PRC1で制御を行う場合は、この指定は無視され、PWA-PRC1の設定に従います。

- [Off \(1x\)](#)
- [On \(4x\)](#)

- On (8x)
- On (16x)

Forced Shuttle Mode

Jog/Varコマンド使用時に、強制的にシャトル制御に切り換えるかどうかを選択します。

- Off
- On

TC Setup

TCR Select

タイムコードリーダーの読取値を設定します。

- LTC
- VITC

DF Mode

タイマーカウンターのドロップフレームモードを設定します。

- NDF
- DF

TC OUT

コネクターパネルのTIME CODE OUT端子から出力する信号を選択します。

- IC
- Through
- TM1
- TM2

Timer Select

表示するタイムデータを選択します。

- IC
- UB
- TM1
- TM2

Timer Set

タイムカウンターを表示します。

カウンターを変更する場合は、数値を入力して、[Set] ボタンをクリックします。[Reset] ボタンをクリックすると、カウンターがリセットされます。

ご注意

[Timer Select] にTM1を設定したときのみ表示されます。

Character

Character On/Off

モニター信号にタイムコードなどの文字情報を表示するかどうかを選択します。

- Off
- On

Character Size

文字情報の表示サイズを設定します。

- Small
- Medium

Vertical Position

文字情報の縦方向の表示位置を設定します。

- 0 (上) ~ 22 ~ 255

Horizontal Position

文字情報の横方向の表示位置を設定します。

- 0 (左) ~ 128 ~ 255

Character Info.

[Character On/Off] をOnに設定している場合に、文字情報の内容を設定します。

- Timedata Only : タイマーカウンターののみ
- Timedata & VITC : タイマーカウンターと VITC
- Timedata & TM1 : タイマーカウンターと TM1
- Timedata & TM2 : タイマーカウンターと TM2
- Timedata & UB : タイマーカウンターとユーザービット
- Timedata & Status : タイマーカウンターと動作状態
- PRC Character : 選択不可です。

Background

文字情報の背景を設定します。

- Outline : 白文字に黒の縁取り
- Translucent : 白文字、背景は黒透かし
- without BG : 白文字、背景なし
- with BG : 白文字、背景は黒

Sub Status

文字情報に追加表示する情報を設定します。

- Off : 追加表示しない
- File Name : ファイル名を表示

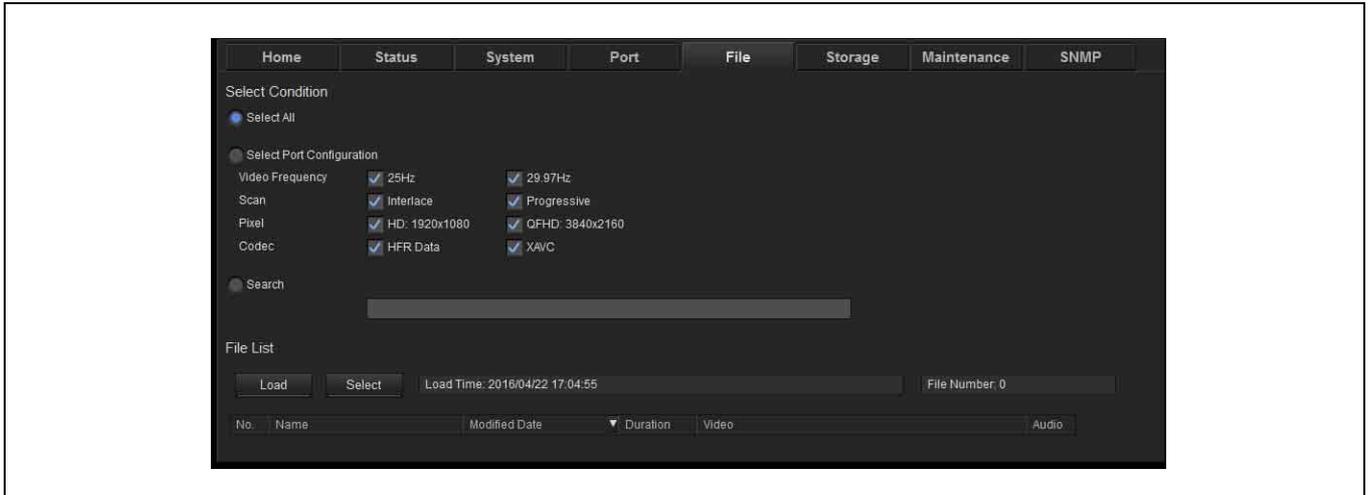
Warning Display

[Character Info.] で「Timedata Only」以外を選択している場合に、文字情報の2行目に警告メッセージを点滅表示するかどうかを設定する。

- Off
- On

File 画面

本機に保存されているファイルのリストを表示します。絞り込みオプションを使って、必要なファイルだけを表示することができます。



Select Condition

Select All

すべてのファイルをリストに表示します。

Select Port Configuration

システム周波数、スキャン方式、解像度、コーデックで絞り込んで表示します。

Search

指定した文字列をファイル名に含むファイルを表示します。

File List

ファイルのリストを表示します。

オプションでファイルを絞り込む場合は、[Select Condition] で条件を指定して [Load] ボタンをクリックします。

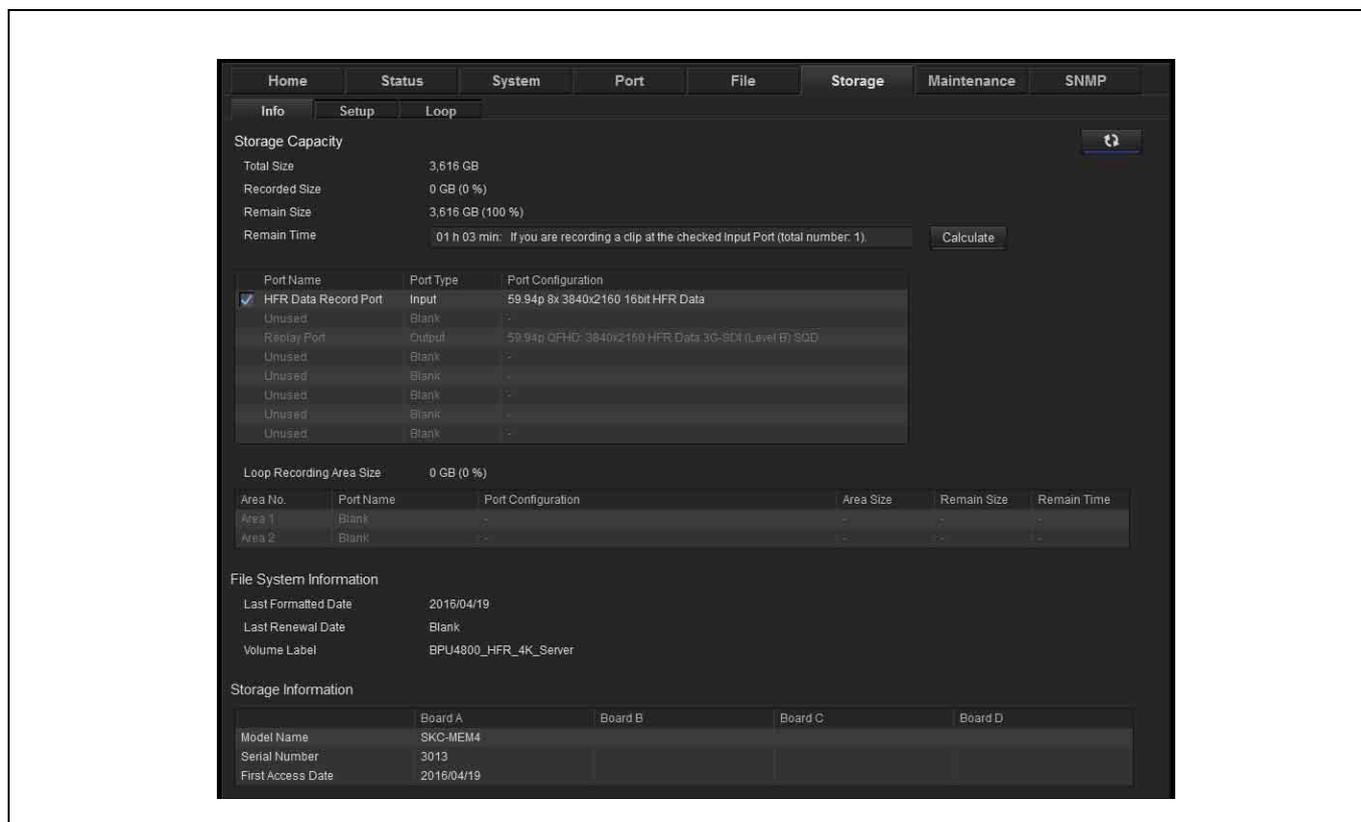
現在表示しているリストに対して条件を変更してさらに絞り込む場合は、[Select Condition] の設定を変更して [Select] ボタンをクリックします。

Storage 画面

本機のメモリーに関する設定/操作を行います。

Infoタブ

本機の内蔵メモリーボードA～Dの状態を表示します。



Storage Capacity

Total Size

内蔵メモリーの全容量を表示します。

Recorded Size

内蔵メモリーの記録済み容量（Loop Recording Areaを除く）を表示します。

Remain Size

内蔵メモリーの残り領域（Loop Recording Areaを除く）を表示します。

Remain Time

ポート名表示でチェックしたポートをすべて同時に記録した場合に内蔵メモリーに記録可能な時間を表示します。

 ボタンがオンになっている場合は、表示が自動的に更新されます。オフの場合は、[Calculate] ボタンをクリックすると、最新の値が表示されます。

ポート名表示

本機のポートの名称、種別、設定を表示します。

Loop Recording Area Size

ループ記録の各領域のサイズと使用状況を表示します。

File System Information

Last Formatted Date

最後にフォーマットした日付を表示します。

Last Renewal Date

最後に更新した日付を表示します。

Storage Information

メモリーボードA～Dについての情報を表示します。

Model Name

メモリーボードのモデル名を表示します。

Serial Number

メモリーボードのシリアルナンバーを表示します。

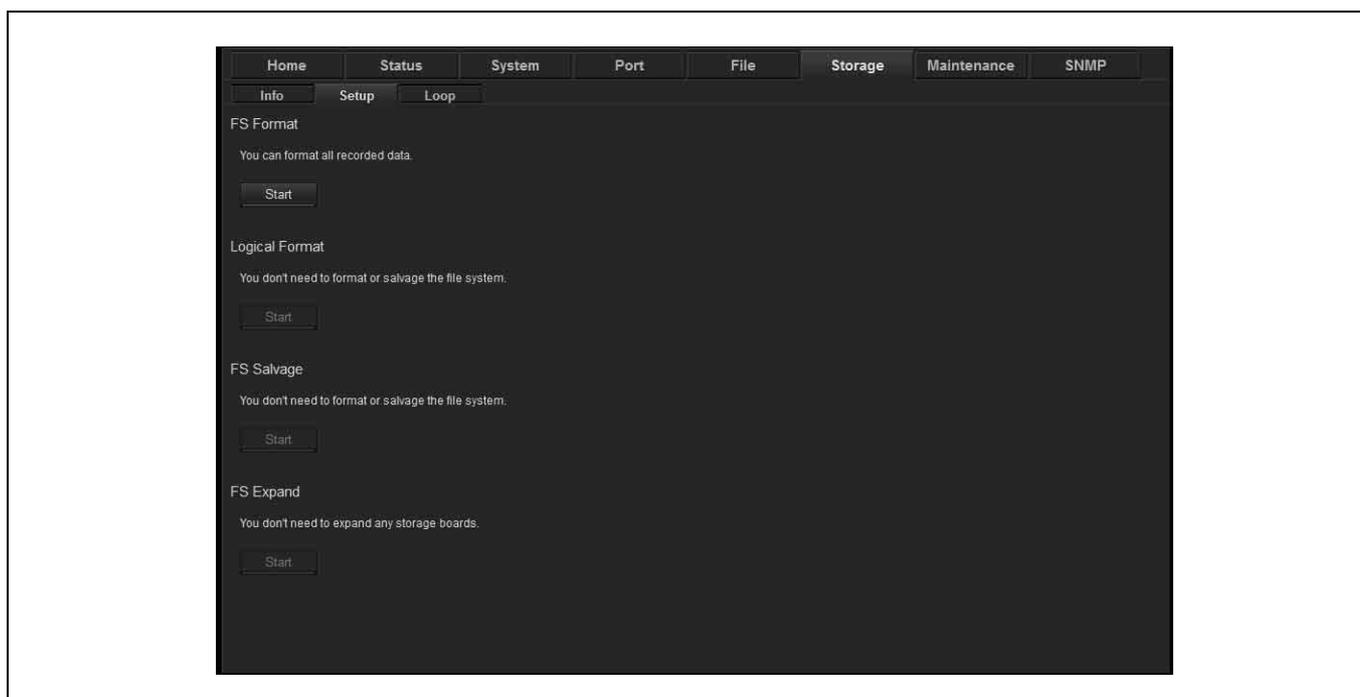
Volume Label

メモリーボードのボリュームラベルを表示します。

First Access Date

最初にアクセスした日付を表示します。

Setupタブ



FS Format

ファイルシステムのフォーマットを実行します。すでに記録されているデータはすべて消去されます。

Logical Format

論理フォーマットを実行します。
メモリストレージへのデータ書き込み中に電源が切れてしまったときなど、メモリーの復旧が必要な場合に使用します。すでに記録されているデータはすべて消去されます。

FS Salvage

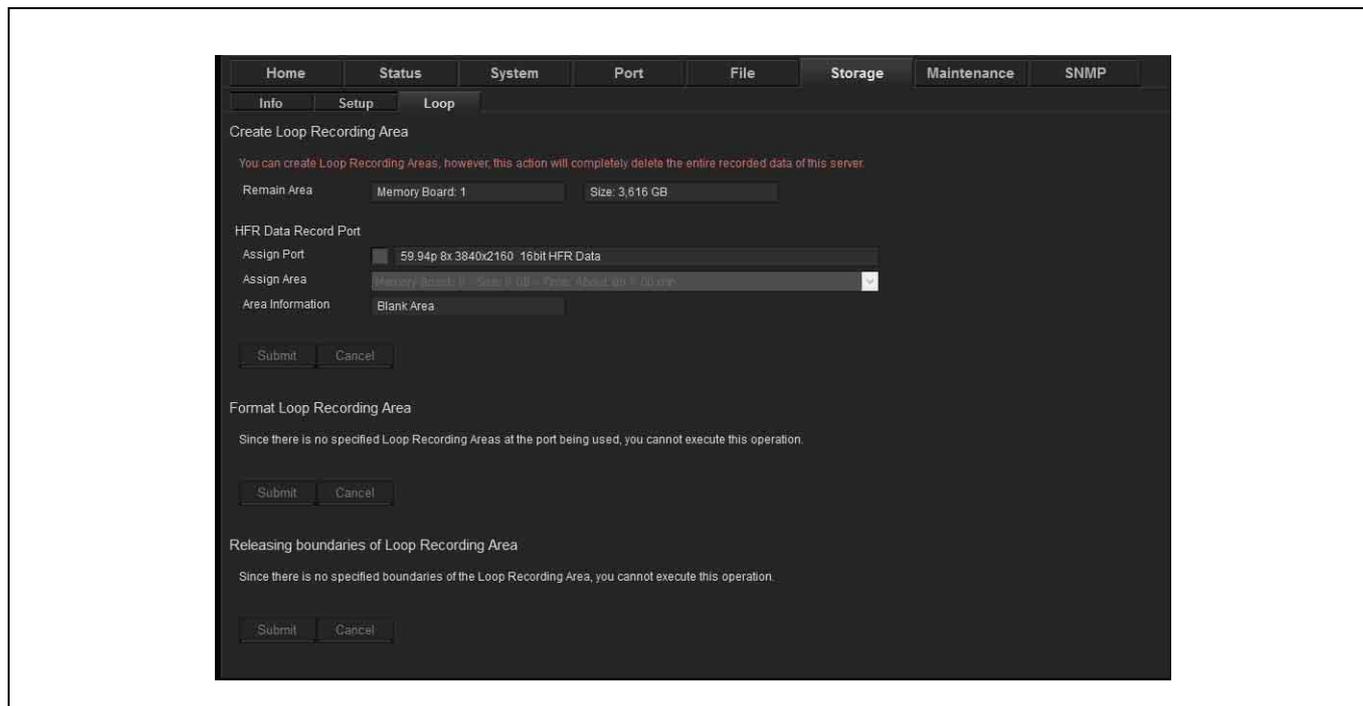
ファイルシステムのサルベージを実行します。
メモリストレージへのデータ書き込み中に電源が切れてしまったときなど、メモリーの復旧が必要な場合に使用します。すでに記録されているデータを可能な限り復旧します。

FS Expand

内蔵メモリーボードを追加した場合に、領域の拡張を行います。

Loopタブ

各入力ポートでループ記録を実行するときに、記録領域を割り当てます。ループ記録領域で記録領域が一巡すると、ファイルの先頭から上書きして記録を続けます。ループ記録領域にファイルが複数ある場合は、古いファイルから削除されます。



Create Loop Recording Area

Remain Area

ループ記録用に割り当て可能な領域の容量を表示します。

Assign Port

ループ記録領域を割り当てる入力ボードを選択します。

Assign Area

該当するポートに対して、ループ記録に割り当てる容量を設定します。また、設定した容量からループ記録の時間を算出して表示します。

容量は、本機に装着したメモリーボードの容量の1/16を単位として設定します。

- メモリーボード 1 枚の場合：
1/16、2/16 …… 15/16、1
- メモリーボード 2 枚の場合：
1/16、2/16、…… 15/16、1、1 + 1/16、…… 1 + 15/16、2

Area Information

使用する Loop Recording Areaの番号を表示します。

設定が完了したら、[Submit] ボタンをクリックします。ストレージがフォーマットされ、設定した内容でループ記録領域が割り当てられます。[Cancel] ボタンをクリックすると、元の設定に戻ります。

ご注意

ループ記録領域の設定を行うと、メモリー内のファイルがすべて消去されます。

Format Loop Recording Area

各ポートのループ記録領域に記録されているファイルを削除し、ループ記録領域をフォーマットします。領域を個別に選択してフォーマットできます。

Releasing boundaries of Loop Recording Area

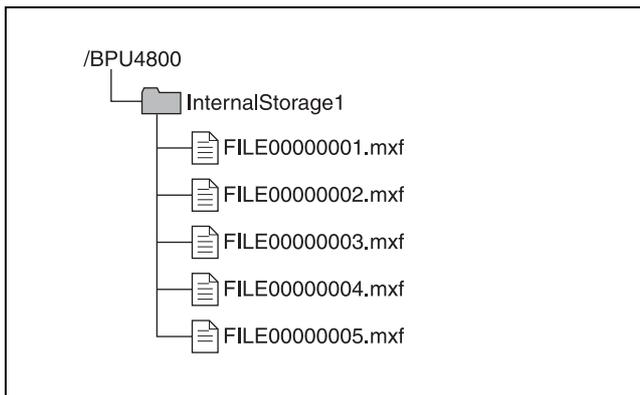
各ポートに対するループ記録領域の割り当てを解除して、記録されているデータを削除します。領域を個別に選択して削除できます。

FTP によるファイル操作

本機とコンピューターとの間でFile Transfer Protocol（ファイル転送プロトコル、以下FTPと呼びます）を利用してファイル操作を行います。本機でXAVCにトランスコードしたファイルを転送するときに使用します。

ディレクトリー構造

コンピューター上で見ることができるBPU4800内のディレクトリー構造の例を次図に示します。



準備

1 本機とコンピューターのネットワーク端子同士をネットワークケーブルで接続する。または、コンピューターが接続されているネットワークに本機を接続する。

2 本機のIPアドレスなどを設定する。

- ◆ 「Network タブ」 (30 ページ) を参照してください。

Windows Vista/Windows 7/Windows 8のコンピューターを接続するときは

インターネットプロトコルバージョン6 (TCP/IPv6) を無効にします。

Windows Vista の場合：(1) コントロールパネルの「ネットワークと共有センター」>「ネットワーク接続の管理」>「ローカルエリア接続」を開く。(2)「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示して、「インターネットプロトコルバージョン6 (TCP/IPv6)」のチェックを外し、OK ボタンをクリックする。

Windows 7/Windows 8 の場合：(1) コントロールパネルの「ネットワークの状態とタスクの表示」>「アダプターの設定の変更」>「ローカルエリア接続」を開く。(2)「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示して、「インターネットプロトコルバージョン6 (TCP/IPv6)」のチェックを外し、OK ボタンをクリックする。

FTP接続する

本機とコンピューターをFTP接続するには、以下の方法があります。

- コマンドプロンプトを使用する。
- FTP クライアントソフトウェアを使用する。

ここでは、コマンドプロンプトを使用する方法を説明します。FTPクライアントソフトウェアについては、必要に応じてご留意ください。

ログインするには

1 コマンドプロンプトを起動する。

2 「ftp <SP> <IPアドレス>」と入力し、Enterキーを押す。(<SP>にはスペースを入力してください。)

本機のIPアドレスが「192.168.0.1」に設定されている場合は、「ftp 192.168.0.1」と入力します。

- ◆ FTP コマンドについては、Windows のヘルプを参照してください。

接続が正常に行われると、ユーザー名の入力を求められます。

3 ユーザー名「usr1」を入力し、Enterキーを押す。

ユーザー名が認証されると、パスワードの入力を求められます。

4 パスワードを入力し、Enterキーを押す。

パスワードは、機種名 (「bpu4800」) が設定されています。

パスワードが認証されると、ログインが完了します。

- ◆ ユーザー名およびパスワードは変更不可能です。

タイムアウトにより接続が切断された場合は

前のコマンドを受信してから90秒以内に次のコマンドを受信しないと、本機はFTP接続を切断します。このような場合は、ログアウトしてから (次項参照) 手順**1**~**3**を再度実行してください。

ご注意

FTP接続中に本機の電源を切ると、転送中のデータは破棄されることがあります。

ログアウトするには

ファイル操作を終了してログアウトするには、コマンドプロンプトに「QUIT」と入力して、Enterキーを押します。

コマンド一覧

本機でサポートされているFTPプロトコル上のコマンドには、標準コマンド (次項) と拡張コマンド (43ページ) があります。

ご注意

- FTP コマンドを実行するには、アプリケーションソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。
- サポートされているコマンドは、アプリケーションソフトウェアによって異なります。
- ファイル名には、ASCII 文字以外の文字を使用できません。

標準コマンド

コマンドの構文の<SP>はスペースの入力、<CRLF>はEnterキーを押して改行することを意味します。

USER

ユーザー名の認証を行う。

構文： USER <SP> <ユーザー名> <CRLF>

入力例： USER usr1

PASS

パスワードの認証を行う。

構文： PASS <SP> <パスワード> <CRLF>

入力例： PASS bpu4800

QUIT

FTP接続を終了する。ファイルの転送中は、転送が終了してから終了する。

構文： QUIT <CRLF>

PORT

データ接続で使用するコンピューター側のIPアドレスとポート番号を本機に通知する。(本機側からデータ接続を行う。)

構文： PORT <SP> <h1,h2,h3,h4,p1,p2> <CRLF>

- ・ h1 (上位バイト) ~h4 (下位バイト) : IPアドレス
- ・ p1 (上位バイト)、p2 (下位バイト) : ポート番号

入力例： PORT 10.0.0.1,242,48

(IPアドレス : 10.0.0.1、ポート番号 : 62000)

PASV

本機に対して、デフォルトのデータ接続ポート以外のポートを「Listen (待ち受け)」にするように要求する。(本機をPassiveモードにし、コンピューター側からデータ接続を行う。)

構文： PASV <CRLF>

TYPE

データタイプを指定する。

構文： TYPE <SP> <タイプコード (オプションは <SP> で区切る) > <CRLF>

以下のタイプコードがある。ただし、本機の場合は、コードの指定に関わらず「I」で送信される。

- ・ A : ASCII
- N : ノンプリント
- T : Telnetフォーマット
- C : ASAキャリッジ制御
- ・ E : EBCDIC
- N : ノンプリント
- T : Telnetフォーマット
- C : ASAキャリッジ制御
- ・ I : IMAGE (Binary) (デフォルト)
- ・ L : LOCAL BYTE
- SIZE : バイトサイズ

入力例： TYPE I

STRU

データ構造を指定する。

構文： STRU <SP> <構造コード> <CRLF>

以下の構造コードがある。ただし、本機の場合は、コードの指定に関わらず「F」で送信される。

- ・ F : ファイル構造 (デフォルト)

・ R : レコード構造

・ P : ページ構造

入力例： STRU F

MODE

- 転送モードを指定する。

構文： MODE <SP> <モードコード> <CRLF>

以下のモードコードがある。ただし、本機の場合は、コードの指定に関わらず「S」で送信される。

- ・ S : ストリームモード (デフォルト)
- ・ B : ブロックモード
- ・ C : 圧縮モード

入力例： MODE S

LIST

本機からコンピューターにファイル一覧を送信する。

構文： LIST <SP> <パス名> <CRLF>

<パス名>でのディレクトリーまたはファイルの指定の有無によって、以下のデータが送信される。

- ・ ディレクトリー指定時 : 指定したディレクトリーのファイル一覧
- ・ ファイル指定時 : 指定したファイルの情報
- ・ 指定なし : 現在のディレクトリーのファイル一覧

入力例1： LIST InternalStorage1

入力例2： LIST FILE00000010.mxf

NLST

本機からコンピューターにファイル名のみの一覧を送信する。

構文： NLST <SP> <パス名> <CRLF>

<パス名>でのディレクトリーの指定の有無によって、以下のデータが送信される。

- ・ ディレクトリー指定時 : 指定したディレクトリーのファイル名のみの一覧
- ・ 指定なし : 現在のディレクトリーのファイル名のみの一覧

入力例： NLST InternalStorage1

RETR

本機の指定したパスにあるファイルのコピーを、コンピューターの現在のディレクトリーに転送する。

構文： RETR <SP> <パス名> <CRLF>

入力例： RETR FILE00000010.mxf

STOR

コンピューター上のMXFファイルを現在のディレクトリーにコピーする。

構文： STOR <SP> <パス名> <CRLF>

入力例： STOR FILE00000010.mxf

RNFR

RNTO

ファイル名を変更する。

RNFRコマンドで変更前のファイル名を指定し、RNTOコマンドで変更後のファイル名を指定する。(RNFRコマンドのあとに必ずRNTOコマンドを続けて発行する。)

ご注意

記録・再生中のファイル名は変更できません。

構文： RNFR <SP> <パス名 (変更前のファイル名)> <CRLF>
RNTO <SP> <パス名 (変更後のファイル名)> <CRLF>

入力例： RNFR FILE00000010.mxf
RNTO SCENE100.mxf

DELE

本機の指定したパスにあるファイルを削除する。

ご注意

- 記録・再生中のファイルは削除できません。
- ディレクトリーやファイルの種類によっては、削除できないことがあります。

構文： DELE <SP> <パス名> <CRLF>

入力例： DELE FILE00000099.mxf

STAT

本機からコンピューターに、本機の指定したパスにあるファイルの属性情報、またはデータの転送状況を送信する。ファイルを指定すると、以下の属性情報が表示される。

- MXFファイル
 - ファイル名 (拡張子 (.mxf) を含まない)
 - ファイルのプロテクト情報
 - ファイル種類
 - ファイル長 (フレーム数)
 - ファイルサイズ (バイト数)
 - ファイル記録日
 - ファイル記録時間
 - ファイル更新日
 - ファイル更新時間
 - DFフラグ (NDF/DF)
 - 先頭のLTC値
 - フラグ (OK/NG/KEEP)
 - システム周波数 (23/24/25/29)
 - ビデオシステム周波数 (23/24/25/29/50/59/100/119/150/179/200/239/300/359/400/479)
 - ビデオスキャンタイプ (Interlace/Progressive)
 - ビデオピクセル数 (例：3480×2160)
 - ビデオ信号タイプ (YPbPr/RGB/XYZ)
 - ビデオビット深度 (8/10/12bit)
 - ビデオコーデック情報
 - ビデオ圧縮モード
 - オーディオコーデック&サンプリング周波数情報
 - オーディオチャンネル数

- ノンオーディオ情報 (1bit×16ch)
- エンファシス情報 (2bit×16ch)
- 記録機情報 (15：BPU4800)
- 再生可否情報および編集可否情報
- サブクリップIn点情報
- サブクリップOut点情報
- 色域情報

ストレージフォルダーを指定すると、ストレージの詳細情報が表示される。

- モデル名
- シリアル番号
- プロテクト情報
- ボリュームラベル
- アクセス開始日
- 最終フォーマット実行日
- 最終更新日
- 残容量 (GB)
- 一般ファイルエリア残容量 (%)

構文： STAT <SP> <パス名> <CRLF>

<パス名>でのファイルの指定の有無によって、以下のデータが送信される。

- ファイル指定時：指定したファイルの属性情報
- ストレージ指定時：指定したストレージの詳細情報
- 指定なし：RETR転送の進捗率 (%) (4セッション分)

出力例： 211 45 75 10 25

入力例1：STAT FILE0000001.mxf

入力例2：STAT InternalStorage1

ABOR

本機に対して、現在実行中のデータ転送などを中止させる。

構文： ABOR <CRLF>

SYST

本機のシステム名を表示させる。

構文： SYST <CRLF>

NOOP

何もしない。(本機の稼働を確認するために使用するコマンド)

構文： NOOP <CRLF>

PWD

現在のディレクトリーを表示させる。(ルートディレクトリーの場合は「/」と表示される。)

構文： PWD <CRLF>

CWD

現在のディレクトリーを変更する。(現在のディレクトリーから別のディレクトリーに移動する。)

構文： CWD <SP> <パス名> <CRLF>

<パス名>でのディレクトリーの指定の有無によって、以下のディレクトリーに移動する。

- ・ディレクトリー指定時：指定したディレクトリー
- ・指定なし：ルートディレクトリー

入力例： CWD InternalStorage1

CDUP

現在のディレクトリーから1階層上のディレクトリー（親ディレクトリー）に移動する。

構文： CDUP <CRLF>

SIZE

指定したファイルのサイズを送信する。

構文： SIZE <SP> <パス名> <CRLF>

拡張コマンド

コマンドの構文の<SP>はスペースの入力、<CRLF>はEnterキーを押して改行することを意味します。

SITE REPF

本機の指定したパスにあるMXFファイルを、コンピューターの現在のディレクトリーに転送する。

このコマンドでは、転送するMXFファイルのボディ部分の一部区間を指定し、必要な部分のみを転送することができる。

構文： SITE REPF <SP> <パス名> <SP> <開始フレーム> <SP> <転送サイズ> <SP> <Audio ch数> <SP> <Metadataパケット有無> <CRLF>

<開始フレーム>には、転送を開始するビデオフレームのファイル先頭からのオフセットを指定する（先頭フレームは0）。

<転送サイズ>には、転送するビデオフレーム数を指定する（ファイルの最後まで転送する場合は0を指定する）。

<Audio ch数>には、ビデオと共に転送するオーディオデータのチャンネル数を指定する。

<Metadataパケット有無>には、Metadataパケットを付加するかどうかを指定する。付加する場合は1を、付加しない場合は0を指定する。

入力例： SITE REPF FILE00000010.mxf 50 200 4 0

FILE00000010.mxfを転送する。ボディ部分は50フレームから200フレーム分で、AudioはCH1～4、Metadataパケットは付加しない。

SITE DF

ストレージの空き容量を表示する。

構文： SITE DF <CRLF>

付録

使用上のご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はソニーの営業担当者にご相談ください。

電解コンデンサの寿命は約5年です。
(常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常で使用すると想定した場合)
したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

設置環境

- 高温の部屋や熱源の近くは避けること。
- 強電界や強磁界の場所に置かないこと。
- 乾燥した通風の良い場所であること。
- 太陽光線、強カライトなどが直接あたる場所は避けること。

強い衝撃を与えないでください

落としたりして強い衝撃を与えると故障することがあります。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり動作不良の原因となります。

使い終わったら

本機のPOWERスイッチをOFFの位置にしてください。

お手入れ

本体やパネルの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れをふきとり、乾いた布で仕上げてください。アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など、揮発性のものをかけると、変質したり塗装がはげたりすることがあります。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

トラブルへの対処

記録を正常に終了できなかったメモリーのサルベージ

記録終了後は、フロントパネルのPOWER（電源）スイッチを押して本機の動作を終了させてください。もし、記録中に電源コードを抜くと、記録が正常に終了しません。その場合、ファイルシステムが更新されず、リアルタイムに記録されていたビデオ/オーディオデータがファイルとして認識されなくなり、記録したファイルの内容が失われます。

本機は、このようなメモリーを最小限の損失で復元する機能（サルベージ機能）を備えています。サルベージ機能は、メモリーに記録されているマーカー情報などに基づいて、ファイルを復元します。

サルベージの処理時間は、記録が中断したときの状態によって異なり、数秒程度から最も長い場合で約10分掛かります。

ご注意

- コネクターパネルの電源コードを抜く場合は、あらかじめフロントパネルのPOWER（電源）スイッチをオフにしてください。
- サルベージ機能は、不慮の事故が発生した場合に、記録した素材をできるだけ救済するための機能ですが、復元を100%保証するものではありません。
- 本機能を実行しても、記録中断直前のデータは復元できません。中断直前の約1秒間のデータが消失します。
- ファイルを復元していない状態で電源を入れると、サルベージやフォーマットの実行を促すダイアログが毎回表示されます。
- ファイルを復元していない状態では、記録や再生を行うことはできません。
- フォーマットするとすぐにストレージとして使用できるようになりますが、それまでに記録されていた内容はすべて失われます。
- サルベージ動作でデータの復元に成功した場合も、必要なファイルを外部ストレージにネットワーク転送するか、もしくは再生して別メディアにコピーするなどの処置を行った上で、メモリーをフォーマットすることをおすすめします。

サルベージによりファイルを復元するには

- 1 記録が正常に終了していないメモリーを検出すると、Webメニューの画面に警告のメッセージとともに、サルベージまたはフォーマットを実行するか確認するメッセージが表示されます。

ご注意

いったんサルベージ処理が始まると、中断することができません。処理が完了するまでの時間に余裕を持って操作してください。

- 2 WebメニューのStorage画面で【FS Salvage】を選択する。
サルベージ処理が始まり、「Please wait.」メッセージが表示されます。

処理が終了すると、メッセージは自動的に閉じられます。

サルベージでもファイルを復元できないときは

サルベージでもファイルを正常に復元できなかった場合、そのままでは内蔵メモリーを使用することができません。フォーマットを実行することで再び使用できるようになります。

- 1 記録が正常に終了していないメモリーを検出すると、Webメニューの画面に警告のメッセージとともに、サルベージまたはフォーマットを実行するか確認するメッセージが表示されます。

2 WebメニューのStorage画面で【FS Format】を選択する。

フォーマット処理が始まり、「Please wait.」メッセージが表示されます。

処理が終了すると、メッセージは自動的に閉じられます。

ご注意

WebメニューのSystem画面の [Setup] タブで [Rec Inhi] に「On」が設定されている場合は、「Off」に変更してください。

エラーメッセージ

モニターに出力されるエラーメッセージ

本機やビデオカメラから異常が検出されたときは、SLOT3 LIVEモニター映像出力に下記のメッセージが表示されます。

ご注意

メッセージを表示させるには、メニューまたはステータス画面を表示してください。

エラーメッセージ	内容
TEMP WARNING	セット内部の温度異常
PLD NG	セット内部のPLD異常

エラーメッセージ	内容
PLEASE CONFIRM CHU MODE ON CSA	CSAのカメラヘッド設定が、接続されているカメラヘッドと一致していない。
PLEASE CONFIRM CHU MODE ON BPU	BPUのカメラヘッド設定が、接続されているカメラヘッドと一致していない。
PLEASE UPDATE CSA SOFTWARE	BPUとCSAのソフトウェアバージョンが一致していない。

Webメニューに表示されるエラーメッセージ

誤動作やシステム内部のエラーにより本機が正しく動作しなくなると、フロントパネルのSYSTEMインジケーターが黄色または赤色で点滅し、Webメニューにエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージの表示後は、メッセージに基づいてエラーを解決し、電源を再投入してください。電源の再投入後もエラーメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス担当者にご相談ください。

コード ¹⁾	表示	内容
14xx00	PS FAN1 TROUBLE など	冷却用ファンモーターの動作異常を検出しました。詳しくは、メンテナンスマニュアルをご覧ください。
260100	POWER SUPPLY A UNIT TROUBLE	電源ユニット A の異常を検出しました。
260200	POWER SUPPLY B UNIT TROUBLE	電源ユニット B の異常を検出しました。
960100	CALENDAR CLOCK ERROR	内蔵カレンダークロックの異常を検出しました。
B3xx00 B3xxpp B3xxii B33Ess	SY CPLD2 INITIAL ERROR など	デバイスの初期化段階で異常を検出しました。詳しくは、メンテナンスマニュアルをご覧ください。
B80100	SYS1-SYS2 NO COMMUNICATION ERROR	SY-422 基板の 2 つの CPU (SYS1、SYS2) の通信にエラーが発生しました。
B80300	SYS1-NW NO COMMUNICATION ERROR	SY-422 基板の CPU (SYS1) と CPU-453 基板の CPU (NW) の通信にエラーが発生しました。
B9.01.00	SYS1 INTERNAL ERROR	SYS1 CPU でタスクの異常な状態を検出しました。詳しくは、メンテナンスマニュアルをご覧ください。
BCXX00	SYS1-APP NO COMMUNICATION ERROR 1 など	CAMERA APP と SYS1 の通信にエラーが発生しました。
D103pp	PORT x ENC PROC ERROR	エンコード処理でエラーが発生しました。詳しくはメンテナンスマニュアルをご覧ください。
D2xxpp	PORT x DEC PROC ERROR など	デコード処理でエラーが発生しました。詳しくはメンテナンスマニュアルをご覧ください。

コード ¹⁾	表示	内容
D3xx01	SLOT Mx AV WRITE ERROR1 など	メモリーへの書き込み処理でエラーが発生しました。詳しくは、メンテナンスマニュアルをご覧ください。
D4xx01	SLOT Mx AV READ ERROR1 など	メモリーからの読み出し処理でエラーが発生しました。詳しくは、メンテナンスマニュアルをご覧ください。
D5xx01	SLOT Mx INTERFACE ERROR1 など	本体に装着したメモリーとの通信ができないため、メモリーが使用できません。電源を再投入してもエラーが再発する場合は、本体とメモリーのいずれかが故障している可能性があります。
D6xx01	SLOT Mx UNMOUNT ERROR1 など	メモリーの終了処理でエラーが発生しました。 メモリーが使用できない可能性があります。電源を再投入したときにエラーコード D7xx01 が毎回発生する場合は、サルベージ処理が必要です。
D7xx01	SLOT Mx MOUNT ERROR1 など	メモリーを検出したときにエラーが発生しました。 電源を再投入したときにエラーコード D7xx01 が毎回発生する場合は、サルベージ処理が必要です。
D80101	SLOT Mx FILE SYSTEM ERROR	メモリーのファイルシステムにエラーが検出されました。 電源を再投入したときに同じエラーが毎回発生する場合は、フォーマット処理が必要です。画面に従ってフォーマットしてください。
E101pp	PORT x COND3 BAD, STOP REC	使用しているメモリーで、不良メモリの置き換えエリアがすべて使用済みになったため、記録を中断しました。
E106pp	PORT x FS STUFFED, STOP REC	使用しているメモリーで、ファイルシステムの管理限界に達したため、記録を中断しました。記録できるようにするには、メモリーをフォーマットしてください。
E108pp	PORT x WRITE FAIL, STOP REC	使用しているメモリーで、データを上書きしようとしたため、記録を中断してデータを保護しました。メモリーに記録できるようにするには、フォーマット処理が必要です。
E10901	SLOT Mx CANNOT REC	メモリーの未記録領域に異常が見つかりました。このメモリーは記録できません。メモリーに記録できるようにするには、フォーマット処理が必要です。
E10App	PORT x MAX LENGTH, STOP REC	ポートの最大記録時間に達したので記録を中止しました。
E43100	INTERNAL MEMORY LACK	一部またはすべての内蔵メモリー基板が装着されていません。
E43200	INTERNAL MEMORY WRONG POSITION	内蔵メモリー基板の装着位置が間違っています。

1) コード中の小文字の箇所には、下記の数字が入ります。
ii : 該当する DM-156 基板の SHARE PLAY 端子位置を示す数字が入ります。
11 : SHARE PLAY 1/2 共通
91 : SHARE PLAY 1
92 : SHARE PLAY 2

2)
pp : 該当するポートを示す次の数字が入ります。
81 : HFR Data Record Port
82 : Replay Port または HD Cut Out Port
B1 : Transcode Port
ss : 該当する MDC-20 基板のスロット位置を示す数字が入ります。
01 : スロット 1
02 : スロット 2
03 : スロット 3
04 : スロット 4
xx : エラーの発生箇所を示す数字が入ります。詳しくは、メンテナンスマニュアルをご覧ください。

警告メッセージ

本機に下記項目の異常が検出されると、Webメニューのステータスバーに警告マークが表示されます。警告マークが表示されても、操作を続けることはできます。複数の異常が同時に発生した場合は、警告マークの右側に警告の件数が表示されます。

警告メッセージの表示後は、メッセージに基づいてエラーを解決してください。

◆ 警告メッセージの対処方法について詳しくは、メンテナンスマニュアルをご覧ください。

コード ¹⁾	表示 ²⁾	内容
0102pp	REFERENCE DISTURBED IN TRANSCODING	トランスコード実行中に同期が乱れました。
020100	LOST LOCK	再生、記録、編集中に同期が乱れました。
0B01pp	PORT x VIDEO DATA ERROR	表示されたポートの再生ビデオ信号にノイズを伴う部分がありました。
0B02pp	PORT x VIDEO DATA ERROR IN SHARE PLAY	NMI データ伝送系の不具合により、正しく再生できませんでした。
160100	SYS1-APP PARAMETER DISCORD	CAMERA APP と SYS1 の通信パラメータに異常値を検出しました。

コード ¹⁾	表示 ²⁾	内容
210101	SLOT MX REC INHIBIT (REC INHBIT)	メニュー設定により、メモリーには記録できません。
220201	SLOT MX FS LOCKED (FS LOCKED)	メモリーがロックされているため、表示されたスロットには記録できません。
220400	UNFORMATTED MEMORY BOARD DETECTION	未フォーマットのメモリー基板を検出しました。
300100	POWER SUPPLY A INVALID INPUT VOLTAGE	電源ユニット A に加わっている電圧が不適切です。 供給されている電源電圧を確認してください。
300200	POWER SUPPLY B INVALID INPUT VOLTAGE	電源ユニット B に加わっている電圧が不適切です。 供給されている電源電圧を確認してください。
310100	POWER SUPPLY A MISCELLANEOUS DEFECT	電源ユニット A に、何らかの異常が発生しました。
310200	POWER SUPPLY B MISCELLANEOUS DEFECT	電源ユニット B に、何らかの異常が発生しました。
470100	RTC BATTERY LOW LEVEL (RTC BATT LOW)	SY-422 基板に搭載されているリチウム電池の残量が低下しています。
740200	ASYNCHRONOUS SHARE PLAY INTERFACE	同期信号の位相ずれが許容範囲を超えたことで、SHARE PLAY が正常に動作しなくなりました。
90XX00	SYS1-APP SHARED MEM ACCESS FAIL 1 など	CAMERA APP と SYS1 の通信が不安定です。
AA0100	SYS1 FTP IF TASK ERROR	SY-422 基板の CPU (SYS1) の FTP 機能に何らかの異常が発生しました。
BB01pp	PORT x NMI COMMUNICATION ERROR	NMI のコマンドに応答がありません。
D204pp	PORT x DATA READ ERROR IN SHARE PLAY	SHARE PLAY 実行中にターゲットのストレージでアクセスエラーが発生しました。
D40201	SLOT MX AV READ ERROR2	メモリーに起因するビデオ再生エラーが検出されました。
D901pp	TRANSCODE PROC FAILED	トランスコード実行中に、デバイスにエラーが発生しました。
E10101	MEMORY FULL, NOT RECORDABLE (M1 FULL)	メモリーに記録できる領域が残っていないため、記録の操作 / コマンドがキャンセルされました。 メモリー内のファイルを削除してください。
E10201	MEMORY COND3 BAD, NOT RECORDABLE (M1 COND3 BAD)	メモリーの不良メモリの置き換えエリアがすべて使用済みのため、記録できません。記録の操作 / コマンドはキャンセルされました。
E10301	MEMORY FUNCTION LIMIT (M1 FUNC LIMIT)	メモリーに対する記録・再生の操作は、記録・再生に関する制限事項により、キャンセルされました。
E10501	MEMORY MAXIMUM FILES, NOT RECORDABLE (M1 MAX FILES)	ファイル数が上限に達したため、メモリーに対する記録の操作 / コマンドがキャンセルされました。 メモリー内のファイルを削除してください。
E10601	MEMORY FILE SYSTEM STUFFED, NOT RECORDABLE (M1 FS STUFFED)	ファイルシステムの管理限界に達したため、メモリーに対する記録の操作 / コマンドがキャンセルされました。 記録できるようにするためには、メモリーをフォーマットしてください。
E202pp	PORT x FULL, STOP RECORDING (P-x FULL STOP)	表示されたポートは、メモリーがいっぱいになったので、記録動作を終了しました。
E401pp	PORT x NMI LINK RESOURCE LACK	PRCM からの制御に対する不具合を検出しました。

1) コード中の小文字の箇所には、下記の数字が入ります。

pp : 該当するポートを示す次の数字が入ります。

81 : HFR Data Record Port

82 : Replay Port または HD Cut Out Port

B1 : Transcode Port

2) () 内は、スーパーインポーズ表示用の短縮メッセージです。

メモリーステータスメッセージ

以下の警告メッセージは、メモリーの消耗状態や使用状態によって表示されます。メモリーを繰り返し使用していると、記録/再生時に問題が発生する可能性が少しずつ高くなります。

下記のメッセージが表示された場合は、新しいメモリーと交換してください。特に、「CONDITION x BAD」メッセージが表示されたときは、すみやかに新しいメモリーに交換することを推奨します。

コード	表示	内容
C10101	SLOT Mx CONDITION1 DOUBTFUL (M1 COND1 DBT)	書き込み / 読み出し時のエラーが多くなっています。 エラーはすべて訂正できていますが、新しいメモリーへの交換を推奨します。
C10201	SLOT Mx CONDITION1 BAD (M1 COND1 BAD)	書き込み / 読み出し時のエラーが非常に多くなっています。 エラーはすべて訂正できていますが、新しいメモリーへの交換を強く推奨します。
C10301	SLOT Mx CONDITION2 DOUBTFUL (M1 COND2 DBT)	メモリーの繰り返し使用回数が多くなっています。 現在のところ問題はありませんが、新しいメモリーへの交換を推奨します。
C10401	SLOT Mx CONDITION2 BAD (M1 COND2 BAD)	メモリーの繰り返し使用回数が非常に多くなっています。 現在のところ問題はありませんが、新しいメモリーへの交換を強く推奨します。
C10501	SLOT Mx CONDITION3 DOUBTFUL (M1 COND3 DBT)	不良メモリの置き換え用エリアが少なくなっています。 現在のところ問題はありませんが、新しいメモリーへの交換を推奨します。
C10601	SLOT Mx CONDITION3 BAD (M1 COND3 BAD)	不良メモリの置き換え用エリアがありません。 再生には問題ありませんが、記録はできません。 新しいメモリーへの交換を強く推奨します。

警告メッセージの検出をキャンセルするには

- 1 WebメニューでMAINTENANCE画面のWarningタブを表示する。
- 2 [Warning Cancel] を選択する。
- 3 設定を変更したいメッセージにチェックを入れる。
- 4 選択が完了したら [OK] ボタンをクリックする。

◆ 操作について詳しくは、メンテナンスマニュアルをご覧ください。

エラーログの表示

検出されたエラーメッセージおよび警告メッセージは、[Maintenance] 画面の [Log] タブで最大99件まで確認することができます。また、ログをファイルに出力することができます。

エラー / 警告メッセージは、[Maintenance] 画面 > [Log] タブの [Error/Warning Table] に表示されます。

エラーログをファイルに出力するには

- 1 [Maintenance] 画面の [Log] タブをクリックする。
- 2 [Create Error Log] ボタンをクリックする。
- 3 [Download Log File] を右クリックして、ファイルを保存する。

で注意

[Create Command Log 1/2] ボタン、[Create Storage Log 1/2] ボタンは、メンテナンス時に使用します。

仕様

一般	
電源	AC 100 V ~ 127 V/200 V ~ 240 V、 50/60 Hz
消費電流	最大 4.5 A
動作温度	5 °C ~ 40 °C
保存温度	-20 °C ~ +60 °C
質量	約 16.5 kg

入出力端子	
CAMERA	光ファイバーコネクタ (1)
CCU	光ファイバーコネクタ (1)
REMOTE (RCP/CNU)	8ピンマルチコネクタ (1)
LAN	8ピン (1)
SHARE PLAY 1/2	SFP+ (2)
REMOTE1/2	RJ-45 (1)
GPIO (25P)	D-Sub 25pin、凹 (1)
NETWORK1 ~ 2	RJ-45 (2)、1000Base-T
MAINTENANCE	USB (1)
NETWORK	SFP+ (1) 10GBASE-SR/LR (Add-in Card)

入力端子	
AC IN	AC 100 V ~ 127 V/200 V ~ 240 V (2)
SDI1、SDI2	BNC 型 (2) 3G-SDI : SMPTE ST424/425 Level-A/B、 2.970 Gbps/2.967 Gbps HD-SDI : SMPTE ST292、0.8 Vp-p、75Ω、 1.485 Gbps/1.4835 Gbps
REFERENCE IN	BNC 型 (1) HD : SMPTE ST274、3 値シンク、 0.6 Vp-p、75Ω SD : ブラックバースト (NTSC : 0.286 Vp-p、75Ω/PAL : 0.3 Vp-p、75Ω)
TIMECODE INPUT	BNC (1)、0.5 Vp-p ~ 5 Vp-p、10 kΩ
DIGITAL AUDIO (AES/EBU) INPUT	BNC (4)、 CH1/2 ~ CH7/8、AES/EBU フォーマット、 不平衡

ご注意

AES/EBU 信号の機器間接続には、300 m 以内のケーブルをご使用ください。

出力端子	
3G SDI OUTPUT (SLOT1 LIVE)	BNC 型 (8) 3G-SDI : SMPTE ST424/425 Level-A/B、 0.8 Vp-p、75Ω、2.970 Gbps/2.967 Gbps
3G/HD SDI OUTPUT (SLOT1 REPLAY)	BNC 型 (8) 3G-SDI : SMPTE ST424/425 Level-A/B、 0.8 Vp-p、75Ω、2.970 Gbps/2.967 Gbps HD-SDI : SMPTE ST292、0.8 Vp-p、75Ω、 1.485 Gbps/1.4835 Gbps 3G-SDI/HD-SDI 切り換え可能
3G/HD SDI OUTPUT (SLOT2 LIVE)	BNC 型 (2) 3G-SDI : SMPTE ST424/425 Level-A/B、 0.8 Vp-p、75Ω、2.970 Gbps/2.967 Gbps HD-SDI : SMPTE ST292、0.8 Vp-p、75Ω、 1.485 Gbps/1.4835 Gbps 3G-SDI/HD-SDI 切り換え可能

3G/HD SDI OUTPUT (SLOT2 REPLAY)	BNC 型 (2) 3G-SDI : SMPTE ST424/425 Level-A/B、 0.8 Vp-p、75Ω、2.970 Gbps/2.967 Gbps HD-SDI : SMPTE ST292、0.8 Vp-p、75Ω、 1.485 Gbps/1.4835 Gbps 3G-SDI/HD-SDI 切り換え可能
HD SDI OUTPUT (SLOT3 LIVE)	BNC 型 (1) HD-SDI : SMPTE ST292、0.8 Vp-p、75Ω、 1.485 Gbps/1.4835 Gbps
HD SDI OUTPUT (SLOT3 REPLAY)	BNC 型 (1) HD-SDI : SMPTE ST292、0.8 Vp-p、75Ω、 1.485 Gbps/1.4835 Gbps
REFERENCE OUT	BNC 型 (1) HD : SMPTE ST274、3 値シンク、 0.6 Vp-p、75Ω SD : コンポジットシンク、0.3 Vp-p、75Ω HD SYNC/SD SYNC 切り換え可能
NMI-LAN (SLOT1 LIVE)	SFP+ (2) 10G BASE-** (SFP+ トランシーバーモ ジュールによる)
NMI-LAN (SLOT1 REPLAY)	
NMI-LAN (SLOT2)	
TIMECODE OUTPUT	BNC (1)、1.5 Vp-p、ローインピーダンス
DIGITAL AUDIO (AES/EBU) OUTPUT	BNC (4)、 CH1/2 ~ CH7/8、AES/EBU フォーマット、 不平衡

付属品

ナンバープレート (1 式)

ご使用になる前に (1)

取扱説明書 (CD-ROM) (1)

RJ45-DSUB ケーブル

部品番号 1-848-424-12 (SONY) (1)

別売品

電源コードセット (1-791-041-XX)

接続ケーブル CCA-5-3 (3 m)、CCA-5-10 (10 m)

拡張用メモリーボード SKC-MEM4

SFP+ トランシーバーモジュール OTM-10GSR1

メンテナンスマニュアル

関連機器

カラーカメラ HDC4800

HD カメラコントロールユニット HDCU2000/2500

リモートコントロールパネル RCP-1000/1500

マスターセットアップユニット MSU-1000/1500

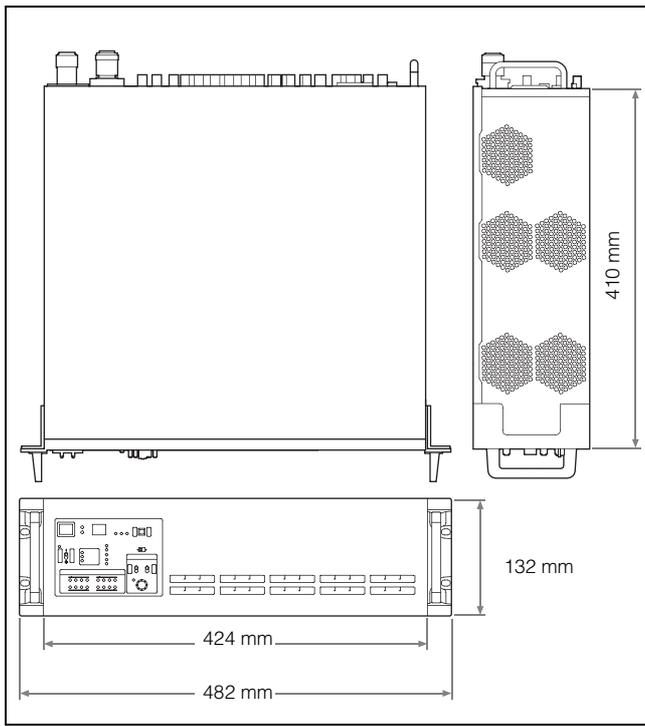
カメラコントロールネットワークアダプター CNA-1

プロダクションコントロールステーション PWS-100PR1

メディアゲートウェイステーション PWS-100MG1

USB コントロールデバイス PWSK-4403

外形寸法



仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。

オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。

当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては、付属のCD-ROMに収録されている「License」フォルダ内の「License1.pdf」をご覧ください。PDFファイルをご覧いただくためには、Adobe Readerがコンピュータにインストールされている必要があります。Adobe Readerがインストールされていない場合は、下記URLにアクセスしてダウンロードできます。
<http://get.adobe.com/jp/reader/>